○議 事 日 程 (第 1 号)

平成28年 3 月 8 日 午前 9 時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 報告第 1 号 損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について
- 日程第 5 承認第 1 号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算 (第 7 号) の専決処分の承認を
求めることについて
- 日程第 6 承認第 2 号 関ヶ原町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処
分の承認を求めることについて
- 日程第 7 諮問第 1 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第 8 議案第 1 号 関ヶ原町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること
について
- 日程第 9 議案第 2 号 工事請負契約の変更について
- 日程第10 議案第 3 号 指定管理者の指定について
- 日程第11 議案第 4 号 平成27年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更
について
- 日程第12 議案第 5 号 平成27年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更
について
- 日程第13 議案第 6 号 平成27年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計への繰入金の変更につ
いて
- 日程第14 議案第 7 号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算 (第 8 号)
- 日程第15 議案第 8 号 平成27年度関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第16 議案第 9 号 平成27年度関ヶ原町介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第17 議案第10号 平成27年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第18 議案第11号 平成27年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2
号)
- 日程第19 議案第12号 平成27年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第20 議案第13号 平成27年度関ヶ原町水道事業会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第21 議案第14号 平成27年度関ヶ原町病院事業会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第22 議案第15号 関ヶ原町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の
一部を改正する条例について
- 日程第23 議案第16号 関ヶ原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

について

- 日程第24 議案第17号 関ヶ原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第25 議案第18号 関ヶ原町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第26 議案第19号 関ヶ原町行政不服審査会条例の制定について
- 日程第27 議案第20号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 日程第28 議案第21号 関ヶ原町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
- 日程第29 議案第22号 関ヶ原町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について
- 日程第30 議案第23号 関ヶ原町職員定数条例の一部を改正する条例について
- 日程第31 議案第24号 関ヶ原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第32 議案第25号 関ヶ原町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第33 議案第26号 関ヶ原町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第34 議案第27号 関ヶ原町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第35 議案第28号 関ヶ原町債権管理条例の制定について
- 日程第36 議案第29号 関ヶ原町体育館条例の一部を改正する条例について
- 日程第37 議案第30号 関ヶ原町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第38 議案第31号 関ヶ原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第39 議案第32号 関ヶ原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第40 議案第33号 関ヶ原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 日程第41 議案第34号 関ヶ原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 日程第42 議案第35号 関ヶ原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 日程第43 議案第36号 大垣地域公平委員会の共同設置に関する規約の変更に関する協議につ

いて

- 日程第44 議案第37号 平成28年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
日程第45 議案第38号 平成28年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 日程第46 議案第39号 平成28年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計への繰入れについて
日程第47 議案第40号 平成28年度関ヶ原町一般会計予算
日程第48 議案第41号 平成28年度関ヶ原町後期高齢者医療特別会計予算
日程第49 議案第42号 平成28年度関ヶ原町国民健康保険特別会計予算
日程第50 議案第43号 平成28年度関ヶ原町介護保険特別会計予算
日程第51 議案第44号 平成28年度関ヶ原町介護サービス事業特別会計予算
日程第52 議案第45号 平成28年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計予算
日程第53 議案第46号 平成28年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計予算
日程第54 議案第47号 平成28年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計予算
日程第55 議案第48号 平成28年度関ヶ原町水道事業会計予算
日程第56 議案第49号 平成28年度関ヶ原町病院事業会計予算

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（9名）

1番	谷口輝男君	2番	室義光君
3番	子安健司君	4番	松井正樹君
5番	田中由紀子君	6番	中川武子君
7番	澤居久文君	8番	楠達男君
9番	川瀬方彦君		

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町長	西脇康世君	教育長	中川敏之君
監理官兼 会計管理者	吉田和司君	総務課長	藤田栄博君
地域振興課長	高木久之郎君	税務課長	田中常敏君

住 民 課 長 河 島 玲 子 君
水 道 環 境 課 長 兒 玉 勝 宏 君
社 会 教 育 課 長 岩 田 英 明 君
西 消 防 署 長 田 中 文 男 君

産 業 建 設 課 長 西 村 克 郎 君
学 校 教 育 課 長 三 宅 芳 浩 君
病 院 事 務 局 長 小 林 好 一 君

○職務のため議場に出席した事務局職員の職・氏名

議 会 事 務 局 長 澤 頭 義 幸 書 記 小 林 孝 正
書 記 岡 村 加 奈 子

開会・開議の宣告

○議長（澤居久文君） ただいまの出席議員数は9名であります。定足数に達しておりますので、平成28年第1回関ヶ原町議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（澤居久文君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、8番 楠達男君、9番 川瀬方彦君を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（澤居久文君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から3月18日までの11日間としたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、会期は本日から3月18日までの11日間と決定いたしました。

日程第3 諸般の報告

○議長（澤居久文君） 日程第3、諸般の報告を行います。

監査委員から、平成27年11月分から平成28年1月分までの出納検査結果の報告がありましたので、印刷したものを配付してあります。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 報告第1号について（提案説明・質疑）

日程第5 承認第1号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第4、報告第1号 損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について及び日程第5、承認第1号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについては、関連がございますので、一括して議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） おはようございます。

報告第1号 損害賠償の額の決定についての専決処分の報告及び承認第1号、一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認について御説明を申し上げます。

平成27年11月1日、各務原市内におきまして、関ヶ原中学校野球クラブに貸与した町マイクロバスが走行中に接触される物損事故が起きました。この件に伴う損害賠償の示談が平成28年1月14日付で成立し、額が決定いたしましたので、損害賠償の額の決定の専決処分の報告をさせていただくとともに、それに関連する修繕費6,000円を追加し、歳入歳出の予算総額を40億5,951万4,000円とする平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第7号）を専決処分により決めましたので、ここに御報告申し上げ、議会の承認を求めるものでございます。

なお、事故の詳細説明につきましては省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） それでは、まず報告第1号 損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について質疑を行います。

質疑はありますか。

〔挙手する者あり〕

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 詳細は報告されないので詳しいことはよくわかりませんが、新聞報道などでクラブの遠征中に事故を起こすということがよく報道されていると思うんです。なかなかその解決方法は難しいと思うんですが、私はやっぱりよく保護者の皆さんで十分話し合ってもらって、納得した上で、どなたが運転されるかということをよく皆さんで話し合うべきだというふうに思っておるんですが、その辺の状況はつかんでみえますでしょうか。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） この件につきましては、野球部の学校行事としての部活動ではなしに、野球クラブとしての活動でございまして、野球クラブの指導員が運転をしていたという件でございまして、走行中に相手が急に車線変更して接触をしたというものでございますので、その点につきましては今回は該当しないと思っておりますけれども、やはり学校行事等で運転される場合には、運転者の申請といえますか、誰が運転するんだということも事前に届けをしていただいて、その上で、保険も入っていただいておりますのを確認した上で貸与するというようにしておりますので、内部で誰が運転されるかというのは、それは当然、相手方のほうで考えていただく必要があろうと思っておりますけれども、町のほうとしては、運転手までつけられるほど余裕はございませんので、その点は借りる団体で責任を持ってやっていただきたいというふうに思っておりますので、そこら辺、先ほども言いましたように、保険に入っているという確認だけはさせていただきます。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 野球クラブということで、なかなか学校からはちょっと把握しにくいということかと思うんですけど、それはひょっとして社会教育という立場になるんでしょうかね、やっぱり今回の事故を契機に、保護者の中で十分納得される、そういう話し合いをしてもらうように、通達と言ったらおかしいですけど、そういうことも伝えていくべきじゃないかというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） この件につきましては、貸与条件がそういう内部の話をきちんとした上で借りてくれということになっていますので、改めてする必要は考えておりません。

○議長（澤居久文君） ほかにありませんか。

〔挙手する者あり〕

9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） この中で、今、相手方に対しての賠償額ということで出ているんですけど、5,200円。今、詳細説明がないという部分で若干ちょっとあって、オーバーランをしたと、相手方が。過失が向こうが悪いという部分はよくわかるんですが、例えばこの5,200円、相手方への賠償に関する部分で、次の一般会計補正予算の中で出ている町有自動車災害共済保険金のほうからの6,000円のあれが保険を使用されているという部分なんですけど、6,000円の賠償にかかわる部分で保険を使ってしまうと、次年度、保険料が上がるはずなんですけど、そのあたりのことは十分精査されたのでしょうか。お願いします。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 共済組合は上がりません。

○議長（澤居久文君） ほかに。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

これをもって報告第1号の報告を終わります。

続きまして、承認第1号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより承認第1号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

日程第6 承認第2号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第6、承認第2号 関ヶ原町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 承認第2号について御説明申し上げます。

平成27年12月議会におきまして税条例の一部改正を議決いただきましたが、税条例の個人番号記載書類の規定内容につきまして、再度、一部改正するものでございます。

なお、細部につきましては税務課長から説明いたします。

○議長（澤居久文君） 田中税務課長。

○税務課長（田中常敏君） それでは、承認第2号 関ヶ原町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて御説明をさせていただきます。

議案資料の新旧対照表により御説明させていただきます。

1ページをお願いします。

第33条の町民税の減免についてですが、いわゆる番号法におきまして、平成28年度税制改正の大綱によりまして、地方税分野における個人番号利用手続の一部見直しについての方針が示されたことによりまして、平成28年1月1日施行の一部改正条例のさらにその改正が必要になったことによるものです。

平成28年1月以降に納税義務者等から申告・申請等を受ける手続においては、原則として個人番号または法人番号の記載が必要になるわけですけれども、今回の見直しは、国税における取り扱いと同様に、個人番号の記載を不要とすることによって、本人確認手続等の納税義務者等の負担を軽減することを目的とする所要の措置により改正するものです。

同じく1ページの126条の3の特別土地保有税の減免についても、同様の改正内容でございます。

公布、施行日につきましては、平成27年12月28日でございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより承認第2号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

日程第7 諮問第1号について（議案朗読・提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第7、諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題とします。

職員に議案を朗読いたさせます。

○議会書記（小林孝正君） 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて。

本町の人権擁護委員に、次の者を推薦したいので、議会の意見を求める。平成28年3月8日提出、関ヶ原町長 西脇康世。

記、住所、関ヶ原町大字関ヶ原1770番地。氏名、坂東増美。生年月日、昭和24年12月18日。

○議長（澤居久文君） 本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 諮問第1号について御説明申し上げます。

本町の人権擁護委員 星津英昭氏の任期が本年6月30日をもって任期満了となりますので、後任に坂東増美氏を推薦したいので、議会の意見を求めるものでございます。

なお、細部の説明は省略させていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより諮問第1号を採決いたします。

本諮問について、適任であると答申するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本諮問は適任であると答申するに決しました。

日程第8 議案第1号について（議案朗読・提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第8、議案第1号 関ヶ原町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題とします。

職員に議案を朗読いたさせます。

○議会書記（小林孝正君） 議案第1号 関ヶ原町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて。

本町の固定資産評価審査委員会委員に、次の者を選任したいので、議会の同意を求める。平成28年3月8日提出、関ヶ原町長 西脇康世。

記、住所、関ヶ原町大字関ヶ原731番地。氏名、谷口功。生年月日、昭和19年5月2日。

○議長（澤居久文君） 本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第1号について御説明申し上げます。

固定資産評価審査委員会委員である松井信夫氏の任期が本年3月25日をもって満了いたしますので、後任に谷口功氏を選任したいので、議会の同意を求めるものでございます。

なお、細部の説明は省略させていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第1号を採決いたします。

本案は、原案のとおり同意するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり同意されました。

日程第9 議案第2号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第9、議案第2号 工事請負契約の変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第2号について御説明申し上げます。

公共下水道事業の面整備、天満・柴井北工区の工事につきまして、平成27年9月8日議案第49号の議決により、室建設株式会社と契約金額5,616万円で請負契約を締結いたしました。その後の設計変更に伴い、105万7,320円を増額し、契約金額が5,721万7,320円となりましたので、地方自治法第96条の規定に基づき、請負契約を変更して締結したいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては水道環境課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 議案第2号 工事請負契約の変更について説明させていただきます。

公共下水道の面整備、天満・柴井北工区の予定工期は3月16日までとなっております。残る舗装復旧をもって予定どおりの工事完了となります。

なお、本契約の変更の内容につきましては、天満地内におきまして土質が想定より非常に悪く、やむなく流用土を用いた設計から購入土での実施への変更をした箇所、それに交通安全面から交通整理人をふやした場所があるなど、増減を精算した結果でございまして、契約額を105万7,320円増額いたし、5,721万7,320円と変更となりますので、議会の議決をお願いするものでございます。よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありますか。

[挙手する者なし]

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

[「なし」の声あり]

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第2号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第10 議案第3号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第10、議案第3号 指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第3号について御説明申し上げます。

これは、関ヶ原町老人福祉センターとさくらんぼの家の指定管理期間が今年度で満了となりますので、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5カ年間、引き続き社会福祉法人関ヶ原町社会福祉協議会を指定するものでございます。

なお、細部につきましては省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第3号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第11 議案第4号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第11、議案第4号 平成27年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第4号について御説明申し上げます。

玉農業集落排水事業については、使用料収入の不足のため、平成27年度玉農業集落排水事業特別会計への繰入金を1,208万9,000円から1,229万9,000円に変更するため、本案を提出するものでございます。

なお、細部の説明は省略させていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第4号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12 議案第5号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第12、議案第5号 平成27年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第5号について御説明申し上げます。

今須農業集落排水事業につきましては、人件費増額のため、平成27年度今須農業集落排水事業特別会計への繰入金を2,445万3,000円から2,456万2,000円に変更するため、本案を提出するものでございます。

なお、細部の説明は省略させていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第5号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第13 議案第6号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第13、議案第6号 平成27年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計への繰入金の変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第6号について御説明申し上げます。

公共下水道事業については、建設費減額のため、平成27年度公共下水道事業特別会計への繰入金を2億935万9,000円から2億503万8,000円に変更するため、本案を提出するものでございます。

なお、細部の説明は省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第6号を採決します。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第14 議案第7号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第14、議案第7号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第7号について御説明申し上げます。

歳出につきましては、職員人件費の所要の職員手当、共済費の補正、事業の執行状況による不用額の減額。

歳入につきましては、税込等の見込み、補助金等それぞれの決定に伴う減額など1億1,157万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を39億4,794万1,000円とする平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第8号）を定めたので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては、それぞれの担当課長から説明いたさせます。

○議長（澤居久文君） これより詳細説明を求めますが、あらかじめ指名はしませんので、歳出から順次説明願います。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第7号 平成27年度関ヶ原町一般会計補正予算（第8号）について御説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億1,157万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39億4,794万1,000円とするものでございます。

歳出から説明させていただきます。

職員給料、職員手当、共済費等の人件費につきましては、年度末までの支払い見込みによるもので、説明を省略させていただきます。

33ページをお願いします。

総務費の財産管理費ですが、旧関ヶ原北小学校屋内運動場及びプール等解体工事の不用額500万円を減額するものです。

次に、財政調整基金費につきましては、それぞれの基金利息の積立金213万8,000円を増額いたしております。

○住民課長（河島玲子君） 続きまして34ページをごらんください。

戸籍住民基本台帳費につきまして、19番、負担金補助及び交付金130万6,000円を補正するものです。これは個人通知カードに関する関連事務の交付金で、J-LIS（ジェイリス）への支払いとなっております。

○総務課長（藤田栄博君） 次に、選挙費の選挙管理委員会費として、マイナンバーに係る選挙人名簿システム改修委託料として45万4,000円を増額し、県議会議員選挙費の職員手当等で27万5,000円の減額、町議会議員選挙費の報酬、職員手当等、需用費、使用料及び賃借料で不用額となりました71万3,000円を減額するものでございます。

○地域振興課長（高木久之郎君） 統計調査費ですが、本年度、国勢調査がありまして、その関係で臨時職員賃金及び使用料及び賃借料について執行いたしませんでしたので、減額するものでございます。

○住民課長（河島玲子君） 続きまして35ページ、社会福祉総務費の償還金利子及び割引料ですが、193万7,000円。これは、障害者医療費国庫負担金の平成26年度確定による返金でございます。

続きまして、国民年金事務費ですが、委託料、12月議会で補正をいただきましたが、額が変更いたしましたので、3万3,000円を追加するものでございます。

続きまして36ページ、介護保険事業費、繰出金ですが、介護保険軽減繰出金の確定によるもので、2万1,000円を補正するものです。

続きまして、後期高齢者医療費、負担金補助及び交付金ですが、280万7,000円。今年度、後期高齢者医療費が赤字となりまして、各自治体の負担金ということで280万7,000円を補正させていただくものです。

続きまして、民生費、児童福祉総務費の扶助費ですが、30万円。これは、主に関ヶ原病院はびりす利用者への負担金となっております。30万円を補正させていただきます。

続きまして、児童措置費、20番の扶助費ですが、児童手当等につきまして422万5,000円。これは対象者の減ということで、確定した数字で減額をさせていただいております。

続きまして37ページ、保健衛生総務費のほうですが、13番、妊婦健診委託料107万6,000円。これは、妊婦健診35名分を予定しておりましたが、2月末現在で23名の妊娠届しかなかったということで減額をさせていただきます。あとは病院のほうの出資金、24番が160万円の増。

健康増進事業費、委託料42万9,000円は、受診者の数が少なかったということで減額をさせていただきます。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 続きまして、衛生費の保健衛生費、環境衛生費の負担金補助及び交付金の102万9,000円の減額につきましては、合併処理浄化槽の整備事業補助金につきまして、当初2基を見込んでおりましたが、結果、申請がなかったため減額するものでございます。また、繰出金につきましては、玉農業集落排水事業特別会計繰出金につきまして、使用料の減などにより繰出金の増額を行うものになります。

次に、2項清掃費の清掃総務費のうち、委託料64万8,000円の減額につきましては、一般廃棄物処理基本計画の策定の契約額の確定によるもので、2目の塵芥処理費の需用費150万円の減額につきましては、ごみ袋の入札差金分で、委託料の70万円の減額につきましては、ペットボトルなど処理量の減の分でございます。

○産業建設課長（西村克郎君） 38ページをお願いいたします。

農林水産業費、農業費、農業振興費の負担金補助及び交付金、青年就農給付金150万円の減につきましては、今年度、新たな新規就農者がございませんでしたので、減額をさせていただきます。営農組合等農業用機械等補助金450万円の減につきましては、西美濃農協さんの玉地内の育苗センターの改修を予定してみえましたが、県の補助金がつきませんでしたので、翌年度に事業のほうを変更されましたので、減額をさせていただきます。多面的機能支払交付金68万5,000円の減につきましては、協定農地の確定に伴いまして減額をさせていただきます。経営体育成支援事業補助金300万円の減につきましては、平成26年度に新規就農されました今須の山根さんへの融資型による農業機械の購入補助を予定しておりましたが、農業機械の更新が平成28年度に変更になりましたので、減額をさせていただきます。鳥獣被害防止柵事業補助金50万円の減につきましては、精算見込みにより減額をさせていただきます。

畜産業費の工事請負費、堆肥場解体工事の54万9,000円の減につきましては、こちらも精算による減でございます。

農地費の負担金補助及び交付金、広域農道整備事業負担金183万1,000円の減につきましては、県営事業負担金でございますが、こちらも事業費の精算によるものでございます。同じく繰出金の10万9,000円は、今須農業集落排水事業特別会計の繰出金でございます。

次に、林業費、林業総務費、負担金補助及び交付金の間伐事業補助金100万円の減につきま

しては、事業費精算による減でございます。

39ページをお願いいたします。

林業振興費、負担金補助及び交付金の産直住宅建設促進事業補助金14万円の減につきましては、関ヶ原産直建築組合さんのほうにおいての補助でございますが、該当となる住宅の建設がございませんでしたので、減をさせていただきます。

林道費、負担金補助及び交付金の270万円の減、補償補填及び賠償金の85万円の減につきましては、山のみち地域づくり交付金林道事業の事業費精算により、県への負担金及び立木補償費の予算を減額させていただくものでございます。

○地域振興課長（高木久之郎君） 続きまして、商工費です。商工業振興費50万円、住宅リフォーム補助金でございます。申請額が予算額を超えましたので、補正させていただくものでございます。

観光費ですが、駅前観光交流館の備品を県の補助対象としていただいたことでの266万円の財源の振りかえ及び9月補正で国際交流事業ということで142万5,000円を旅費として認めていただきましたが、当初3名分で見えておりましたが2名で行ったことと、閑散期により航空代が安かったため、減額させていただくものでございます。

続きまして、観光施設整備費、需用費40万円の減額につきましては、のぼりを買う予定をしておりましたが、今年度、先行型交付金やランドデザイン事業について、のぼりをそちらのほうで買いましたので、減額させていただくものでございます。以上です。

○産業建設課長（西村克郎君） 40ページのほうをお願いいたします。

土木費、道路橋梁費、道路維持費の委託料、道路点検業務40万円の減につきましては、入札差金によるものでございます。

41ページ、道路橋梁新設改良費の工事請負費170万円の減につきましては、社会資本整備交付金の内示が少なかったため、事業量を減したことによるものでございます。負担金補助及び交付金1,895万円の減につきましては、電柱等移転負担金、水道管布設がえ工事負担金の精算見込み、また県道牧田関ヶ原線の県営事業負担金の事業費精算によるものでございます。

除雪対策費の職員手当、時間外勤務手当45万円。委託料の除雪作業委託料450万円につきましては、1月に2回の除雪作業を実施しており、また補正予算の締めでございます2月中旬においての今後の見込みも含めた額で補正をお願いするものでございます。需用費の消耗品費100万円と修繕料100万円の減につきましては、こちらも実績見込みによる減でございます。

河川費、河川維持費の工事請負費200万円の減につきましては、入札差金及び発注時における工法等の変更により事業費が減となりましたので、減額をさせていただきます。河川維持費の負担金補助及び交付金の50万円の増につきましては、今須新明地内の急傾斜地崩壊対策事業負担金の予算が不足するため、お願いをするものでございます。

42ページをお願いいたします。

都市計画費、都市計画総務費、委託料の都市計画基本図修正業務171万6,000円の減につきましては、入札差金によるものでございます。同じく繰出金の432万1,000円の減につきましては、公共下水道事業特別会計の繰出金の減でございます。

住宅費、住宅管理費の委託料69万6,000円の減につきましては、木造住宅耐震診断の申請実績に伴いまして減額をさせていただくものでございます。工事請負費の修繕工事費90万円の減につきましては、実績及び見込みによる減でございます。負担金補助及び交付金の120万円の減につきましては、木造住宅耐震補強工事の助成金でございますが、申請がございませんでしたので減額をさせていただくものでございます。以上です。

○学校教育課長（三宅芳浩君） 同じく42ページ、教育費でございます。教育総務費の事務局費の委託料でございますが、昨年度に国のほうから平成27年度中のアスベスト検査を実施する旨の通知がありましたので、本年度予算計上いたしました。この検査の実施が見送られることとなりましたので、検査代の委託料分を減額させていただくものでございます。

続きまして43ページでございます。

小学校費並びに中学校費の賃金でございますが、年度末で両事業におきまして不用額が出る見込みとなりましたので、それぞれ減額させていただくものでございます。

次に、中学校費の需用費でございます。関ヶ原中学校が新築されまして、学校のエアコンによります電気代の上昇を想定して予算化をいたしましたが、不用額が出る見込みとなりましたので、減額させていただくものでございます。以上でございます。

○社会教育課長（岩田英明君） 続きまして44ページをお願いいたします。

社会教育費、社会教育総務費の委託料50万円でございます。こちらは、来年度予定をしておりました今年度策定の史跡整備計画策定報告書の印刷を前倒ししまして、計画策定業務委託の中で行うものでございます。また、それにあわせまして工事請負費の差金50万円を減額させていただきます。よろしくをお願いいたします。

○産業建設課長（西村克郎君） 続きまして、災害復旧費、公共土木施設災害復旧費の委託料68万5,000円の減につきましては、入札差金による減でございます。以上です。

○総務課長（藤田栄博君） 最後に、公債費ですが、減債基金からの繰り入れを行わずに、一般財源で充当する財源の組み替えでございます。

次に、歳入でございます。

26ページをお願いします。

町民税ですが、個人の現年課税分240万円、法人の現年課税分2,250万円の合わせて2,490万円の増額で、4億5,840万1,000円となっております。

固定資産税につきましては、現年課税分520万円の減額で8億1,780万9,000円となっております。

ます。

軽自動車税につきましても、現年課税分90万円の減額で1,690万円となります。

たばこ税も、現年課税分30万円の減額で3,970万円となっております。

27ページをお願いします。

地方交付税ですが、普通交付税1億5,800万円の増額で11億5,800万円となっております。

また、使用料及び手数料につきましても、斎苑使用料を300万円減額しまして8,097万3,000円となっております。

次に、国庫負担金の民生費国庫負担金は、児童手当交付金など287万8,000円を減額し、1億3,918万円としてございます。

28ページをお願いします。

国庫補助金でございます。まず総務費国庫補助金ですが、個人番号カード制と選挙人名簿システム改修費の補助金の増、それと地域再生戦略交付金の減により57万円の減額。

衛生費国庫補助金は、循環型社会形成推進交付金で34万3,000円の減。

土木費国庫補助金は、木造住宅耐震診断助成金、社会資本整備総合交付金で150万2,000円の減。

教育費国庫補助金は、学校施設環境改善交付金724万2,000円の増で、合計482万7,000円を増額し、1億2,987万9,000円となっております。

次に、県負担金の民生費県負担金ですが、児童手当等の51万1,000円の減額で8,568万8,000円となっております。

次に29ページをお願いします。

県補助金でございます。まず総務費県補助金ですが、清流の国ぎふ観光回廊づくり推進事業補助金で166万6,000円の減。

衛生費県補助金は、県振興補助金などで125万7,000円の増。

農林水産業費県補助金は、新規就農確保事業補助金など862万5,000円の減。

商工費県補助金は、清流の国ぎふ観光回廊づくり推進事業補助金の206万6,000円の増。

土木費県補助金は、木造耐震診断助成金など76万1,000円の減で、合計772万9,000円を減額し、1億7,773万9,000円としてございます。

次に、委託金ですが、総務費委託金として、選挙費と統計調査費で67万1,000円の減で、2,954万6,000円となっております。

30ページをお願いします。

財産運用収入の利子及び配当金ですが、基金の利息88万8,000円を増額し、177万6,000円となっております。

繰入金につきましては、交付税等の増額により、当初予定しておりました各基金の繰り入れ

を行わず、2億5,000万円の減額としてございます。

繰越金につきましては415万1,000円を増額し、町債については、事業量の減額等に伴い、借り入れを見送ったため3,440万円を減額しております。

以上、歳入歳出の補正でございます。よろしく申し上げます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

質疑はありますか。

[挙手する者あり]

8番 楠達男君。

○8番（楠 達男君） 歳入について1点だけ伺いたいと思います。19ページの町税、町民税が2,490万円増となっております、町財政からすれば非常にありがたい収入増ということですが、この2,490万円ふえた部分について、説明できる部分について説明をお願いしたいということと、逆にその次の固定資産税が520万円減となっておりますので、これについてもその理由、根拠について、わかる範囲で、答弁できる範囲で結構ですから、答えをお願いしたいと思います。

それからランドデザイン関係の、これは予算にも関係しますけれども、この補正予算の今の説明の中でも、同じランドデザイン事業の中でも地域振興課の所管の部分と社会教育課の所管の部分がありますよね、同じような事業であっても。それは非常にわかりづらい、我々からしても。一言で言えばそれを一本化できないのかという思いはあるんですが、あえて社会教育課の所管にしたランドデザイン事業の部分と、それから地域振興課の所管にしたその振り分け、区分け、その理由について少し説明をお願いしたいと思います。

○議長（澤居久文君） まず田中税務課長。

○税務課長（田中常敏君） 町税の法人町民税の増額分でございますけれども、個人税の均等割が150万円、法人税割が2,100万円という増額をさせていただきました。法人の均等割の件につきましては、均等割納税義務者等の増によるものでございます。約10法人ほどでございます。170法人が180法人にふえる見込みでございます。法人税割の2,100万円の増につきましては、法人税割が100万円以上である約10法人の増による見込みで、この補正をさせていただきました。

それから、固定資産税等につきましては、また軽自動車税、たばこ税等の減額につきましては、決算また実績に合わせて減額させていただいております。以上でございます。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） グランドデザインの予算の区分の関係ですけれども、観光関係につきましては地域振興課で所管していると。それから、社会教育のほうで所管しているのはいわゆる史跡の関係でございます、文化庁との関係がございまして社会教育のほうで担当させている

ということで、史跡と観光という区分をさせていただいておるということでございますので、御理解いただきたいと思います。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 8番 楠達男君。

○8番（楠 達男君） わかるんですよ、それは。史跡の保存・管理は社会教育課の所管だということは、従来からそうですね。ただ、ランドデザインということで、今回の補正でも予算でもランドデザインという事業の中でされているわけですから、従来の発想ではなくて、やっぱりランドデザインという関連事業については地域振興課なら振興課の中で一括しておいたほうが、行政側としてもスムーズに事が進みやすいんじゃないかというふうに思うんで、そこら辺の考え方だけもう一度お願いしたいと思います。

○議長（澤居久文君） 補正の内容から外れていますけど、ちょっと今後の考え方、西脇町長。

○町長（西脇康世君） 御指摘の件はよくわかるわけでございますけれども、この事業に関しましては、国の補助事業、これが文科省の部分等ありますし、物によっては国交省の関係もあるということで、国の予算の配分が違うという関係もございまして、予算的には、やはり史跡に関しては今までずっと教育委員会部局で管理しているということがございますので、予算的には区分するのが非常に難しいかなと思います。ただ、ランドデザイン事業という大枠で考えたときに、説明しやすいように、両方あわせて一覧表のようなものを提示させていただいて、御説明をさせていただくというふうに考えたいと思います。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

[挙手する者あり]

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 1番 谷口です。

人件費に関してですけれども、内容説明が省略という感じで、人件費に関しましては、支払い、余分に払うわけでもないし、いいんですけれども、ただ今回、多額の減額があります。足すとかかなりの額になると思うんですけれども、その原因、理由がわかれば教えていただきたいのと、共済費の関係とかの利率も変わっているのかなとも見えるんですけれども、それをお願いしたいと思います。

それから除雪の関係ですけれども、除雪は今現在どのくらいの委託料の実績があるのかだけ教えていただきたいと思います。以上です。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 人件費は総額で約5,600万円ほど減額になってございます。その原因は、まず正職員3名の方がおやめになられました。その中には、突然、途中で中途退職という方も見えました。それとあと再任用職員の2名の方がゼロ人、そして今まで正職でありまし

た6名の方が、単純労務者ですが、再任用になられております。あと休職者が1名、あと育休が5名発生しております。このことで当初予算より減額が見込まれたということでございます。そして採用者はゼロということになっていきますので、これだけの減となっております。

あと、共済費の手当ですが、年金の関係なんかが厚生年金と一緒にになりましたので、その分、率が下がっております。以上です。

○議長（澤居久文君） 西村産業建設課長。

○産業建設課長（西村克郎君） 除雪の作業の委託の件でございますが、予算500万円に対しまして現在のところ440万円ほどの執行額となっております。除雪につきましては、除雪作業もそうなんです、消雪の点検業務等も含まれております。今後また固定費等の支出も見込んでおりますので、よろしく願いをいたします。以上です。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 済みません、4点あるんですが、2点ずつでよろしいでしょうか。

○議長（澤居久文君） はい。

○5番（田中由紀子君） 39ページをお願いいたします。商工業振興費の住宅リフォーム補助金です。住宅をリフォームした際に最大10万円の補助金が出るということですが、この平成27年度は何件で、補助金総額と、もし工事総額がわかれば教えていただきたいのと、結局この補助金は全て商品券で地域にお金が回るというふうに思うんですが、地域の中でどれだけ経済効果があるのかということはやっぱり町としてきちんとつかんだほうがいいと思うんですが、前も言ったと思うんですけども、そういうふうに経済効果をつかんでおられるのかどうか、お伺いしたいと思います。

それから同じページで、メイメイ管理費です。今年度でこの会計項目は終わると思うんですけども、現状、m a y ! m a y ! はどうなっているのか。今後、私はやっぱり業者の方に入ってもらって十分活用してもらわないかんというふうに思っているんですが、多分これまで公募されたと思うんですけども、その辺がどういう状況になっておるのかということと、今後、私は、ごめんなさいね、ちょっと一般質問みたいになってしまいますが、大垣なんか例えば1カ月1万円でお試しということで空き店舗を貸したりとか、そういう取り組みもやってみるんですけど、何かそういう作戦があるのかどうか、それを伺いたいと思います。

○議長（澤居久文君） 高木地域振興課長。

○地域振興課長（高木久之郎君） まずリフォーム補助金につきまして、きょう現在交付決定をしている額は299万7,000円の35件、工事総額ですが、およそ7,900万円というふうになっております。

m a y ! m a y ! 跡地につきましてですが、公募をかけまして、いわゆる問い合わせがあつ

たのとか、中を見せてくれとかというのは5件程度ありました。いずれも契約の締結には至らなかったというところがございます。以上です。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） m a y ! m a y ! の跡のお試し使用とかいう関係ですけれども、今、社会福祉協議会のほうで認知症カフェを計画したいということで、まだ正式にはこちらのほうには話は来ていませんけれども、やっておられるということで、その内容等を確認させていただいた上でまた検討することになると思いますが、今のところ週1ぐらいは使いたいというような話も聞いております。民間事業者に借りていただくほうがよかったかもしれませんが、今、地域振興課長から報告があったように、いまだに成約に至るような事例がなかったということでございます。そういったことならば認知症カフェもやってみたらということで計画されているということですので、ちょっとそちらのほうの様子を見てみたいと思っています。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） あと2点、どうぞ。

○5番（田中由紀子君） m a y ! m a y ! については、引き続き業者の方に入っていただけるように努力をしていただきたいと思います。

あと1点にさせていただきます。42ページ、簡単な質問なんですけど、先ほど委託料でアスベストの調査が見送られたという説明でしたが、その理由を教えてくださいたいと思います。それで、今後またやられるのかどうか。

○議長（澤居久文君） 三宅学校教育課長。

○学校教育課長（三宅芳浩君） これにつきましては、アスベストの中でいわゆる保温材、耐火被覆材というのが法で規制の対象になったということで、今までこれについて調査は行われていなかったんですが、今回、壁の中の調査をしるという国の方向だったんですが、国のほうで再度いろいろ協議されたんだと思いますが、壁を壊してそういうので調査をすると余計にアスベストが飛散したり、教育環境が悪くなる可能性が高いということで、再度国のほうで方針を協議するというので、とりあえず今のところ調査がいつされるかということとは全然見込みがないという形で通知が来まして、その段階でうちのほうが調査をしても、また方法とかも含めて全部変わってしまえば無駄になってしまいますので、今回は予算を減額させていただき、見送りさせていただくということになりました。以上でございます。

○議長（澤居久文君） ほかに質問ありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第7号を採決します。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

ここで暫時休憩をいたします。15分まで。

休憩 午前10時02分

再開 午前10時17分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第15 議案第8号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第15、議案第8号 平成27年度関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第8号について御説明申し上げます。

一般被保険者の保険給付費の増額などにより836万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額11億9,482万8,000円とする平成27年度関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては住民課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 平成27年度関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算について御説明をさせていただきます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ836万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億9,482万8,000円とするものでございます。

まず歳出のほうから御説明をいたします。

51ページのほうをごらんください。

歳出、保険給付費の一般被保険者療養給付費800万円、これは給付費の増額によるものでございます。

続きまして、保険給付費、一般被保険者高額療養費につきましても200万円、これも療養費の増によるものでございます。

続きまして、前期高齢者納付金は、事務費の確定によるもので6,000円を補正させていただ

きます。

保健事業費につきましては、人件費でございます。

次、52ページのほうを見てください。

基金積立金の4万円は、利息が4万円つきましたので補正をさせていただきます。

10番の諸支出金、償還金は、26年度の確定による償還が3,000円不足いたしましたので、補正をさせていただきます。

10番、諸支出金の174万円の減額は、関ヶ原病院事業についての減額でございます。

戻りまして50ページをお願いいたします。

歳入ですが、国庫支出金、療養給付費等負担金の現年度分と過年度分、現年度分320万円、過年度分156万1,000円の476万1,000円が入ってきます。

国庫支出金の財政調整交付金は114万円の減額。特別調整交付金が174万円、これは関ヶ原病院の関係で174万円減額と、普通調整交付金が60万円増ということです。

財産収入といたしまして、利子が4万円つきましたので増額です。

それから、繰越金として470万6,000円を繰り越しいたします。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第8号を採決します。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第16 議案第9号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第16、議案第9号 平成27年度関ヶ原町介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第9号について御説明申し上げます。

主に居宅介護サービス費の増額と施設サービス費の減額など総額348万9,000円を追加し、歳

入歳出予算の総額を7億6,691万7,000円とする平成27年度関ヶ原町介護保険特別会計補正予算(第3号)を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては住民課長から説明をいたさせます。

○議長(澤居久文君) 河島住民課長。

○住民課長(河島玲子君) 平成27年度関ヶ原町介護保険特別会計補正予算について御説明させていただきます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ348万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億6,691万7,000円とするものでございます。

60ページをごらんください。

歳出のほうから御説明をさせていただきます。

保険給付費のほうですが、居宅介護サービス給付費2,000万円の増額です。

地域密着型介護サービス給付費200万円の増額、これは給付の増によるものでございます。

3番、施設介護サービス給付費2,200万円の減額です。これは入所者等の減少によるものでございます。

4番、居宅介護福祉用具購入費30万円の増、介護用具の購入がふえたということでございます。

6番、居宅介護サービス計画給付費390万円の増、サービス計画等の対象者がふえたということによるものでございます。

2番の保険給付費、介護予防サービス等諸費ですが、介護予防サービス給付費190万円。これも給付費の増です。

同じように、介護予防サービス計画給付費のほうも30万円、計画を立てるということでふえております。

62ページのほうをよろしく願いいたします。

特定入所者介護サービス費200万円の減でございます。これは対象者の減ということでございます。

次の地域支援事業費の一次予防事業費、これは人件費の減額でございます。

4番の介護予防ケアマネジメント事業費は、人件費の増ということでございます。

57ページをごらんください。

歳入ですが、第1号被保険者保険料86万7,000円、第1号被保険者の特別徴収分がふえたということでございます。

介護給付費負担金213万円の増。

国庫支出金の調整交付金が220万円の増。

地域支援事業交付金がマイナス9万円です。

58ページのほうで、支払基金交付金の介護給付費交付金123万2,000円の増。

地域支援事業支援交付金が10万円の減でございます。

県支出金、介護給付費負担金が70万円の減でございます。

県支出金、地域支援事業交付金が4万5,000円の減額。

あと、一般会計繰入金ですが、介護給付費繰入金55万円。

地域支援事業繰入金がマイナス52万2,000円、これは人件費に関するものです。

その他一般会計繰入金が7万4,000円の減、これも人件費でございます。

介護保険料軽減繰入金は、額の決定によるもので2万1,000円の増でございます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者あり〕

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 60ページをお願いいたします。居宅介護のほうで2,000万円ふえて、施設介護のほうでマイナス2,200万円ということで、これは介護保険の改正に伴って介護度3以上しか施設に入れないという影響なのかどうか伺いたいと思います。

○議長（澤居久文君） 河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 原則介護3以上でございますが、実情に応じて介護1・2の方も入所できるというふうになってはおります。介護保険じゃなくて、老人保健施設のほうからの退所者がふえたということで、居宅がふえております。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第9号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第17 議案第10号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第17、議案第10号 平成27年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第10号について御説明申し上げます。

使用料の収入不足が見込まれるため、一般会計繰入金との財源更正を行う平成27年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部の説明は省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第10号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第18 議案第11号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第18、議案第11号 平成27年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第11号について御説明申し上げます。

今須農業集落排水事業減債基金の基金利息の増及び人件費の増によるもので12万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を5,489万1,000円とする平成27年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部の説明は省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第11号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第19 議案第12号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第19、議案第12号 平成27年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第12号について御説明申し上げます。

幹線管渠及び面整備管渠工事の事業量の減によるもので503万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億3,826万8,000円とする平成27年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を定めたので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては水道環境課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 議案第12号、関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）につきまして説明いたします。

77ページをごらんください。

まず歳入につきまして、第1款の分担金につきまして、下水道受益者負担金の本年度賦課をさせていただいた地域の方につきまして全期前納された方が多かつたため200万円の増額とし、第2款の使用料につきましては、人口減等により見込み額に達しないため、下水道使用料100万円の減額とさせていただくものです。

また、事業費の確定により、第3款の国庫補助金を250万円、下水道事業債を432万1,000円減額するものでございます。

78ページをごらんください。

第5款繰越金につきましては確定額へ57万9,000円を補正し、第6款諸収入としまして、一昨年度工事費が多かつたため、消費税の還付金が想定より多かつたため491万円を増額し、第

7款町債につきまして事業費の確定により470万円の減額をいたし、歳入の総額としまして503万2,000円の減額をさせていただくものでございます。

79ページの歳出をお願いいたします。

人件費につきましては3万2,000円の減額、さらに工事請負費につきましては総額500万円を減額するものになります。減額理由としましては、工事請負契約額が確定し、交付金の額も確定したことに伴うものでございます。よろしくをお願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第12号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第20 議案第13号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第20、議案第13号 平成27年度関ヶ原町水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第13号について御説明申し上げます。

収益的収入及び収益的支出では、受託工事費の減による減額、資本的収入のうち企業債の借入れについて減額を内容とする平成27年度関ヶ原町水道事業会計補正予算（第3号）を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては水道環境課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 議案第13号、関ヶ原町水道事業会計補正予算（第3号）につきまして説明いたします。

83ページをごらんください。

収益的収入の水道事業収益の受託工事収益につきましては、新規加入者が少なく、接続工事も少ないことに伴い、100万円を減額し150万円とし、その他特別利益につきましては、退職給

付引当金戻入益が183万3,000円の減額となっておりますが、これは当初予算で見込んでいましたものの人事異動に伴い、精算した結果、減となるものでございます。

84ページをよろしくお願いたします。

第1款水道事業費用、第1項営業費用、第2目配水及び給水費の修繕費につきまして、漏水等修繕が見込み以上にあることから100万円の通常修繕費の増を、請負工事費につきましては、先ほどの前ページの給水工事負担金と対をなすものですので同額を減額し、総係費の6,000円の減額につきまして、人件費の年度末の所要の精算及び貸倒引当金繰入額につきましては当初予算で伸び率等の数値による推計をいたしておりますが、年度末ということで、実数字に近いものに補正をさせていただくものでございます。

85ページをごらんください。

資本的収入の企業債につきまして、キャッシュフローを再度検討し、1,000万円の減額をさせていただくものです。現金の減少はあるものの、借り入れを行わなくても今後も安定的経営をしていけると判断し、減額させていただくものでございます。

負担金の工事負担金の100万円の減額につきましては、収益的収支で説明いたしましたように、新規加入者が見込み以上に少なかったため、同様に減額をするというものでございます。よろしくお願いたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第13号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第21 議案第14号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第21、議案第14号 平成27年度関ヶ原町病院事業会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第14号について御説明申し上げます。

資本的収入において、国保補助事業の確定額による減額補正と、県補助事業の未実施等による補助金を減額する所要の補正、あわせて資本的支出において、医療機器購入額等の確定による建設改良費を減額するなどを内容とする平成27年度関ヶ原町病院事業会計補正予算（第2号）を定めたいので、本案を提出するものでございます。

なお、細部につきましては病院事務局長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 議案第14号について御説明申し上げます。

議案資料の91ページをお願いします。

医業外収益の他会計補助金ですが、国保補助金の交付内示額の増額補正を行うもので、国保調整交付金救急患者受け入れ体制支援の中で医師確保に要した経費分が、当初予算388万円が内示額436万円のため、48万円の増額を行うものです。

次に、国県補助金ですが、交付内示額による国県補助金の増額及び減額の補正を行うもので、岐阜県認定看護師養成県補助金が、当初予算40万円が交付決定額36万6,000円のため、3万4,000円の減額となりました。また、岐阜県医師事務作業補助者育成県補助金が、当初ゼロ円が交付決定額82万6,000円のため、82万6,000円の増額を行うものであります。

次に、資本的収入の他会計出資金ですが、補助事業の決定による補正で、出資金の患者等送迎車購入に対する県振興補助の確定により、購入費の2分の1補助で160万円の増額を行うものであります。

繰入金は、免疫発光測定装置とシリンジポンプ購入額の3分の1補助分40万5,000円と、予算作成時に送迎車もこの国保事業から補助金がいただけるものと考え262万5,000円の予算を計上しましたが、国保補助事業とならなかったため、今回、差し引き222万円の減額補正を行うものであります。

続きまして議案資料の92ページをお願いします。

次に、建設改良費の医療機器購入費ですが、故障時対応で予算計上していた便潜血測定装置の購入を見合わせたため92万2,000円の減額と、患者等送迎車購入差金により19万5,000円の減額を行うものであります。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありませんか。

[挙手する者あり]

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 今年度の決算見込みを教えてくださいませんか。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 大体、うちで計算している段階では1億円ぐらゐの赤字の決算

見込みというふうに考えております。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 1番。

○1番（谷口輝男君） 今、決算見込みが1億円と言われましたが、ここに一時借入金1億2,000万円上がってございますね、貸借対照表の中に。それから、今の決算見込みで1億円と言われましたけれども、前回、全協でしたか、決算見込みの額をいただいております。この中で、決算見込みで収益が22億5,000万円何がし、それから決算見込みで費用が23億994万3,000円となっております。これは収益の関係でいきますと、実際にマイナスの5,900万円ぐらいになるんですね、収益的収支が。その中で、動かない減価償却が1億6,600万円あります。それから雑収入というのがありまして、雑収益、いわゆる現金の動かないものがありまして、実際に減価償却の現金の動かないのを鑑みますと、1億円は収益的なもので現金があるはずなんです。その中で、資本的収入・支出の差額が1億円あるんですね。これでなぜ1億円の現金がなくなるのでしょうか、ちょっと教えていただきたいんですけど。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 今の一借りの分ですが、このキャッシュフローのその他の中に入っていて、これでマイナス4,286万円ということで相殺されております。現在、28年3月末でキャッシュフローに係る分が1,856万円の残金が残るという計算で、一応今こういうような試算でありますけれども、よろしいですか。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） キャッシュフローの6,175万3,000円というのは、これは年度末の現金が残るということですよね。この6,100万円が残る数字で1億円マイナスというのはどういう、これもわからないんですけど、教えていただけませんか。

○議長（澤居久文君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時44分

再開 午前10時52分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 今回、貸借対照表のほうに1億2,000万円を計上しましたが、実際、現金が回らないというのが事実でありまして、もう一度精査をいたしまして、今後はこういうことにならないような記載の方法を考えたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） ほかに質疑ありますか。

〔挙手する者あり〕

9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） そもそも協議してもらえるといる部分でありますので、あくまでも現金がショートしないように考えていただきたいというのは以前から申し上げておるところでございます。

その中で、今の貸借対照表の中の一時借入金という部分に当てはまることなんですけど、あくまでも一時借入金そのものの項目、これ自体が、地方公共団体が1会計年度内において歳計現金が不足した場合に、その資金不足を補う借入金という形でございます。これは地方財政の辞典の中に記載されておったんですが、あくまでも、公営企業法の適用を受ける公営企業が他会計から借り入れる場合を除き、普通であるんだったら銀行等々で第三のところからの借入金、当然、利息を払って借り入れをして行うというのがあくまでも一時借入金ではないのかということも補足として考えていただかないことには、ここの貸借対照表の中に安易に一時借入金が入っているものかというのは以前からお聞きしていた部分だと思いますので、この点も押さえておきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 今、9番議員がおっしゃった一時借入金という用語については、議員のおっしゃるとおりでございます。

それで、今まで他会計から横流しという言い方はあれですけど、一時流用的に一般会計から病院会計のほうへ送っておったんですが、本来で言うと一時借入金、要するに金融機関から年度内にきちんと借りて利息を払って実施していくことが本来の姿だと思います。今後はこのようにやっていかなければならないと思いますし、そこで、ここの貸借対照表の中に1億2,000万円、これは実際その用語の意味とは違う意味で計上されていますので、これについては今後から適宜、今のやり方は、この一時借入金という項目で上げるということ自体がちょっといかなものかと思っておりますので、将来的には、病院が赤字になった場合、金融機関から借りて年度内の一時借入金という方法をとっていくのが本来の姿だと思っております。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） それで、今の総務課長の答弁のとおりなんですけれども、今回、1億2,000万円上がっているのは、3月31日現在ということで上がっていますので、年度内に返すという前提での処理はさせていただくということになります。そこら辺だけは御理解いただきたいと思っております。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第14号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第22 議案第15号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第22、議案第15号 関ヶ原町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第15号について御説明申し上げます。

平成27年度の人事院勧告に基づき、議会の議会議員の期末手当率の改正を行うものでございます。

なお、細部につきましては総務課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 別冊の議案資料の3ページをお願いします。表であらわしてございます。

これは、民間の支給割合に見合うように、12月分の期末手当を0.1カ月引き上げ、「2.215カ月」から「2.225カ月」とし、6月分と合わせて4.2カ月に改正するもので、平成27年4月1日遡及適用となっております。

次に、表の下の28年度6月分以降につきましては、全体の4.2カ月は変更ございませんが、6月を「1.975」から「2.025」、12月を「2.225」から「2.175」の計4.2カ月ということで、これは28年4月1日からの適用ということになります。以上でございます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第15号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第23 議案第16号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第23、議案第16号 関ヶ原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第16号について御説明申し上げます。

これにつきましても議案第15号と同様に、平成27年度の人事院勧告に基づきまして、常勤の特別職の期末手当率の改正を行うものでございます。

細部の説明は省略をさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者あり〕

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 先ほどのところで聞くべきだったと思うんですけども、職員の間にもありますのでトータル的な話で、この27年4月1日から適用するという事で遡及という形になるんですけども、この遡及の日付とか、例えば今の議員の間にもありますが、支給日というか、そういうものの規定というか、何かあるんですか。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） この議案書の中に書いてございますが、最後の期末手当の内払いということで第2条に書いてございます。要するに、法律は27年4月1日に遡及して適用されますが、6月分の手当は関係なくて12月分の改正でございまして、6月分は議員さんは関係ございません。法律そのものが27年4月1日にさかのぼります。支給日については年度いっぱいということで、当方としては年度内というか、3月31日までに支払う予定でございまして、それについて国のほうから、出納閉鎖期間中、要するに5月31日までとか、そういう指示は来てございません。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 1番。

○1番（谷口輝男君） 内払いでわかっていましたんですけど、それは。ただ、支給日が年度内

という話になると、いつというのはこちらで勝手に決めていいということですね。わかりました。

○議長（澤居久文君） ほかに。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第16号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決しました。

日程第24 議案第17号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第24、議案第17号 関ヶ原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第17号について御説明申し上げます。

平成27年度人事院勧告に基づき、平成27年度分を平均0.4%引き上げる一般行政職等全ての給料表の改正、勤勉手当率の改正、地方公務員法の改正による級別基準職務表の規定、行政不服審査法の改正に伴う法律名称及び引用条項の改正を行うものでございます。

なお、細部につきましては総務課長から説明をいたさせます。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第17号について御説明申し上げます。

議案資料の8ページをごらんください。表でまたあらわさせていただきました。

まず給与改定の関係ですが、民間給与との格差平均0.4%を引き上げるという人事院勧告により給料表を改正するもので、平成27年4月1日遡及適用となります。

次に、期末手当等の関係ですが、民間の支給割合に見合うよう0.1カ月分を引き上げ、勤勉手当に配分するものでございます。表をごらんください。勤勉手当の欄ですが、上段の26年度12月の勤勉手当「0.75カ月」が中段の27年度期末手当「0.85カ月」になり、期末勤勉手当の年

度合計が「4.1カ月」から「4.2カ月」に改正となります。また、これについては平成27年度分までの遡及適用となります。

次に下段の表ですが、平成28年度分は、期末勤勉手当の年度合計4.2カ月は変わりませんが、6月と12月の勤勉手当をそれぞれ0.8カ月分とするものでございます。これについては平成28年4月1日施行となっております。

次に、地方公務員法の改正に伴いまして、職員の職務の複雑・困難及び責任の度合いに基づく等級ごとに明確な給料額の幅を定めていかなければならないということと、その運用につきましては議会審議等を通じて地方公務員給与における職務給の原則を一層徹底させようということから、職員の職務を給料表の各等級に分類する際の具体的な基準となる等級別基準職務表を、今まで規則であったものを条例で定めることという総務省の通知により、改正するものでございます。その表につきましては議案書の116ページに掲げております。

そして最後に、行政不服審査法の全部改正によります字句の訂正及び引用条項の改正をするものでございます。

以上、よろしく申し上げます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これより議案第17号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第25 議案第18号について（提案説明・質疑・討論・採決）

○議長（澤居久文君） 日程第25、議案第18号 関ヶ原町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） 議案第18号について説明を申し上げます。

関ヶ原町病院事業の設置等に関する条例の一部改正でございます。病院の病棟数及び診療科

の減により、診療科及び病床数を変更する改正を行うものでございます。

なお、細部につきましては病院事務局長から説明いたさせます。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 議案第18号について御説明申し上げます。

議案資料の41ページをお願いします。

今回、歯科の廃止に伴い、現在標榜している歯科、歯科口腔外科、小児歯科を削除し、医師が不在の呼吸器内科も削除し、また「泌尿器科（人工透析）」も泌尿器科医師不在のため「人工透析内科」に変更します。この名称は、患者から見てわかりやすい標榜科がよいと保健所からの御指導をいただきましたので、この名称とさせていただきます。

次に、病棟再編に伴い、一般病床「80床」から「88床」に変更し、療養病床49床を削除するものであります。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

質疑はありますか。

[挙手する者あり]

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 病床数を88床に改めるということで、現在入院してみえる方がどのようになっていくかというのが大変心配されるんですけど、そのまま病院に残れる方が何名かということと、今、どこかに移っていただかないかん人は何名かということはわかりますでしょうか。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） ちょっと細部は今詰めておる最中ですのでお答えできませんけれども、今、大体患者さんにも説明し、一応引き取っていただく、きのうも徳洲会へ行きました、徳洲会で3名引き取っていただけるということも確約をしてきましたし、今、細部を詰めておる最中ですので、患者さんに御迷惑をかけるということはずないというふうに今思っています。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

[挙手する者あり]

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 関連ですけれども、今の入院患者数はどれくらいで、結局、後の処理とどうか、人数は今3名だけ決まっておると聞いたんですけど、入院患者数は今何人見えますか。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 僕の記憶で、きのう現在で多分105人ぐらいだったと思います。

今度88床になりますので、退院していただく患者さんとか施設に行っていただく患者さんがかなりいますけれども、実際、今入院しておっていただく患者さん、本来ですと、ほかの病院ですと大体3カ月ごとにローテーションで回るのが普通なんです、うちの場合はちょっと今まで余裕がありましたので、いていただいた患者さんもいますが、今後はそういう患者さんも含めながら検討に入っていきますので、とにかく患者さんの御理解をいただいた上での転院ということになってきますので、そこら辺はうまくいくんじゃないかなというふうに今思っております。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 今の話で、17人ばかりオーバーしているということで、これは28年4月1日から施行ですよ。ということは、その時点ではちゃんと88床になるということでしょう。処理できるんですかね。

○議長（澤居久文君） 小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） それはそのようにできます。今、3分の2ぐらいは大体決定していますので、あともう少しの詰めですので、まずいけると思っています。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 今の話で、条例改正がこの4月1日から施行で、この時点というのはスケジュール的にも大変じゃないかなという気がしたんですけど、やっぱりこれを決めたというのが、議会にも報告はしていただいているんですけど、余りにも短期過ぎるんじゃないかなと思うんですけど、それに関してはどう思われていますか、町長さん。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） 1番議員さんの御指摘のとおり、スケジュール的には非常にタイトな段階で決めたということでございます。これにつきましては、前々から129床体制の折におきましても、病棟のほうのスタッフがぎりぎりよりもちょっと少ない状態の中で回すというような現状がございました。それに加えて、年度末に向かう段階において退職希望者が出てきたということで、その体制のままで129床は運営が難しいという判断のもとで、変更やむなしということでこういう形に至った次第でございます。

本来ですと、1年前から協議をし、どうするかというのを考えながら進めていきたいということで、以前にも一般質問だったと思いますけれども、来年度じゃなしに数年先には病床の減少を考えたいということをお願いしておりましたが、今言いましたようなスタッフの減というやむにやまれん事情によりまして、今回、急遽こういう形にさせていただいたということで、患者様にも本当に急な話で御迷惑をかけていると思っておりますが、御理解を賜りたいという

ふうに思っております。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これより議案第18号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

ここで暫時休憩をいたします。25分まで。

休憩 午前11時14分

再開 午前11時25分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第26 議案第19号から日程第43 議案第36号までについて（提案説明・質疑）

日程第44 議案第37号から日程第56 議案第49号までについて（提案説明）

○議長（澤居久文君） 日程第26、議案第19号 関ヶ原町行政不服審査会条例の制定についてから日程第56、議案第49号 平成28年度関ヶ原町病院事業会計予算までの31議案を一括して議題とします。

議案の説明に入る前に、町長から平成28年度の基本方針について説明を行っていただき、その後、提出議案の説明を求めます。

西脇町長。

○町長（西脇康世君） それでは、所信表明をさせていただきます。ちょっと長文になりますので、その点、御理解をいただきたいと思います。

本日、平成28年第1回町議会定例会が開催され、平成28年度予算を初め関係議案を提出し、御審議を願うに当たり、当面の町政運営について私の所信の一端を述べたいと存じます。

平成27年度の日本経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策、いわゆるアベノミクスの取り組みにより、企業の経常利益は過去最高水準に達し、賃上げ率は2年連続で前年を上回る伸び、有効求人倍率は23年ぶりの高水準となるなど、デフレ脱却までもう一息のところまで来ていますが、個人消費の改善テンポはお

くれており、企業収益に比して設備投資も弱い状況にあります。実質GDP成長率は2四半期連続でマイナスとなっており、足元の経済状況は全体として緩やかな回復基調にあるものの、一部に弱さも見られるため、引き続き機動的な経済財政運営が求められているところであります。

こうした状況のもと、政府は平成27年11月26日に、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策を取りまとめました。誰もが活躍できる社会をつくるためには経済的基盤の強化が不可欠であり、これまでの3本の矢を束ねて一層強化した新たな第1の矢である「希望を生み出す強い経済」を推進し、その成長の果実を活用し、第2の矢の「夢をつむぐ子育て支援」として、希望出生率1.8%の実現に向け、若年の雇用・経済的基盤を改善するとともに、仕事との両立ができる環境づくりと、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を図り、第3の矢の「安心につながる社会保障」では、高齢者のみならず、現役世代を含めて誰もが安心して生活できるように、年金、医療、介護等の社会保障制度の改革を進めることとしています。地方創生、国土強靱化、女性の活躍などの取り組みと相まって、第2・第3の矢が強い経済にも寄与するメカニズムを通じて、新・3本の矢が一体となって成長と分配の好循環を強固なものにすることが期待されます。

県におきましては、これまでの行財政改革の取り組みにより、持続的な財政運営の道筋がつつきつつありますが、社会資本の老朽化への対応や社会保障関係経費の自然増への対処に加え、清流の国ぎふ創生総合戦略に基づく地方創生の取り組みの本格化や、防災・減災に向けた県土強靱化など、さまざまな政策課題への対応について検討しなければならないなど、多くの課題を抱えている状況にあります。

本町においても、人口減少が大きく、消滅可能性都市に分類されているように、少子・高齢化が顕著となっています。その影響もあって、町内事業所においては景気回復の兆しはあるものの、いま一つ活気に乏しい状況にあります。一方で、県の全面的バックアップのもとで古戦場グラウンドデザイン事業が本格的に動き出しており、全国に知れ渡っている古戦場のまち関ヶ原としての整備を進めようとしております。

このような状況下において、健全な財政運営を維持しつつも、将来に向けて、住んでいてよかったと思えるようなまちづくりに向けて取り組んでまいり所存ですので、議員諸兄を初め町民の皆様の御理解と御支援をお願いする次第であります。

私は、平成28年度の予算を編成いたしました。関ヶ原町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生への取り組みに加え、関ヶ原古戦場グラウンドデザインに基づく事業推進、公共施設の老朽化、新水源の確保、赤字から脱却できない関ヶ原病院改革等、懸案事項が山積する中で、今後の財政状況を見きわめつつ、地域の特色を生かし、真に必要なことを重点的かつ効率的に推進し、財政危機に陥らないように注意を払いつつ、創意工夫をもって本町が

生き抜いていけるまちづくりに向けて取り組んでいくことを旨とし、的確に事業を選択し、予算編成したところであります。議員諸氏の御理解と御支援、また御協力をお願い申し上げます。

それでは、新年度における基本方針を申し上げます。

第1に、行財政改革と健全財政の維持であります。

本町は、収入の柱である町税が人口減少や少子・高齢化の影響等により年々減少傾向にあり、逆に支出においては、公共下水道を初めとする特別会計、企業会計への繰出金、負担金、補助金や高齢化に伴う社会保障経費の自然増など、裁量の余地のない義務的経費、準義務的経費が増加傾向にあります。限られた財源を有効に使い、町民の福祉の充実を図るため、持続可能な財政運営への取り組みと行政運営の効率化を実行することとしています。

また、既存の事業につきましても、個々の事業内容を精査し、少ない経費で最大の効果を生ずるよう、将来に備えた安心・安全なまちづくりを目指して進めていきたいと考えております。

第2に、観光の推進であります。

古戦場のまちとして観光面の活性化が重要であり、今年度に引き続き、関ヶ原古戦場グラウンドデザインに基づき、県と連携を図りながら事業を推進してまいります。また、観光の拠点となる観光協会の運営を充実させるとともに、ソフト面においても、引き続き笹尾山を中心としたイベント等を積極的に取り組み、より一層誘客に努めていきたいと考えています。

また、地域のミニイベントの開催を働きかけ、地域住民の触れ合いと地域の活性化を図ってまいります。そのほか、関ヶ原町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生の取り組みとして、関ヶ原古戦場グラウンドデザイン事業を軸として観光交流の促進を図っていききたいと考えております。

第3に、関ヶ原病院の経営改善であります。

地域医療のかなめである公立病院として、議会を初め町民の皆様の御理解と御支援を賜り、医療の質とサービスの向上に努め、病院施設の環境改善と病院職員の資質向上など、病院運営の改善に努めてきましたが、厳しい状況はなお続いております。また、平成27年度は指定管理者制度導入に向け検討・交渉を重ねてまいりましたが、財政的な問題等により、当面の間、直営での経営を続けていくこととなりました。28年度からは3病棟体制から2病棟の88床に縮小して改革の再スタートをすることとしており、健全経営ができる体制に向けて努力していききたいと考えております。

第4に、教育の充実であります。

人口減少が進む中、子供たちへの期待は大きなものがありますが、体力・学力低下が心配される昨今であります。確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばし、思いやりの心や道徳心など、確かな人間力の基礎となる教育の充実に努めていきたいと考えております。また、学校の魅力向上にも学校ごとに取り組んでいただき、子供たちの学力向上と楽しい学校づくりを推進

していきたいと考えています。

第5に、福祉の推進であります。

高齢化率が35%を超えた関ヶ原町は、老人が元気に安心して暮らせる社会づくりが必要になってくると考えています。また、出生数が年々減少する中でも、子供が心身ともに健やかに育つよう、子育て支援、医療費の補助など、安心して子育てができる環境整備を進める必要があります。

以上申し上げました基本方針を念頭に置きながら、新しい時代のまちづくりのために、皆さんと一緒に知恵を絞り、気概を持って取り組む覚悟でありますので、議員各位を初め町民の皆様には、私の決意と気持ちを御理解いただき、温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

続いて、今回提案をいたしました議案についてであります。

初めに、議案第40号から議案第49号までの平成28年度予算について御説明申し上げます。

本町の財政は、まだまだ先行き不透明な経済環境や財政政策の中で、税収や、特に起債残高、実質公債費比率の推移を見ながら、さらに徹底した行財政改革が必要になってきております。このため、人件費、物件費などの徹底した見直しや、経常経費の簡素化、効率化を図る一方、施策の創意工夫と改善を図りながら、財政運営の合理化、適正化に意を払ったところでございます。

このような結果として、平成28年度の予算規模は、一般会計36億9,980万円、特別会計等で54億4,677万8,000円、予算総額91億4,657万8,000円となったところであります。

予算の大要、歳入歳出の項目別の説明につきましては、この後、担当課長が行います主要事業等の説明にも出てまいりますので、平成28年度予算提案説明、予算編成の経過に添えて別途配付することで説明とさせていただきますので、御理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは続いて、議案第19号から第39号につきまして順次御説明申し上げます。

議案第19号につきましては、行政不服審査法の改正により、審査庁の採決の際には第三者機関に諮問することが義務づけられたため、行政不服審査会を設置する条例を制定するものでございます。

議案第20号につきましては、行政不服審査法の改正に伴い、情報公開条例、個人情報保護条例、町営土地改良事業分担金賦課徴収に関する条例の一部をそれぞれ改正するものでございます。

議案第21号につきましては、行政不服審査法及び同施行令の改正に伴い、審査の申し出、手続について所要の改正をするものでございます。

議案第22号につきましては、行政不服審査法の改正により、申立人が処分庁から審査庁に提

出された書類等について写しの交付を求めることができるようになったため、交付手数料について規定する条例を制定するものでございます。

議案第23号につきましては、関ヶ原病院の病棟数及び診療科の減により、定数を減少するものです。

議案第24号につきましては、一般職の給与に関する法律等の改正により、勤務時間の割り振りの特例でありますフレックスタイム制について規定するものでございます。

議案第25号につきましては、地方公務員法の改正に伴い、「勤務成績の評定」を「人事評価」に字句を改正するとともに、行政不服審査法の改正に伴い、「不服申立て」を「審査請求」に字句を改正するものであります。

議案第26号につきましては、厚生年金への一元化に伴う地方公務員災害補償法施行令の改正により、補償の額を他の法令による給付と調整する調整率の改正を行うものであります。

議案第27号につきましては、やぎ工房m a y ! m a y ! 廃止に伴う店長手当の廃止を行うものでございます。

議案第28号につきましては、債権のうち主に水道料、町営住宅使用料、病院診療代などの私債権について、債権の放棄を含めた適正な債権管理について規定をするものでございます。

議案第29号につきましては、旧北小学校体育館の取り壊しにより、北部体育館の名称等を削るものでございます。

議案第30号につきましては、乳幼児医療費の助成について所得制限を廃止するものでございます。

議案第31号につきましては、ビニール・プラスチックごみ類をプラスチック製容器包装として収集方法の変更を行うため、所要の改正を行うものでございます。

議案第32号につきましては、国民健康保険法施行令の改正に伴い、保険料の賦課限度額の引き上げ、減額対象所得基準の引き上げを行うものでございます。

議案第33号につきましては、省令基準の改正により、地域密着型通所介護の基準の追加や、認知症対応型通所介護事業所への運営推進会議を義務づけるなど、所要の改正を行うものであります。

議案第34号につきましては、省令基準の改正に伴い、認知症対応型通所介護事業所への運営推進会議を義務づけ、所要の改正を行うものでございます。

議案第35号につきましては、行政不服審査法の改正に伴う字句の改正と、非常勤消防団員等の損害補償の基準を定める政令の改正により、補償の額を他の法令による給付と調整する調整率の改正を行うものでございます。

議案第36号につきましては、行政不服審査法の改正に伴い、「不服申立て」を「審査請求」に字句を改正するものであります。

議案第37号から議案第39号までにつきましては、玉農業集落排水事業、今須農業集落排水事業、公共下水道事業の特別会計への繰出金の額を定めるものでございます。

以上、一括上程されました議案の説明を終わらせていただきます。

なお、引き続き担当課長に詳細説明をいたさせますが、一部議案につきましては説明を省略させていただきます。何とぞ御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

○議長（澤居久文君） ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午前11時44分

再開 午前11時46分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまから順次説明を求めますが、議案によりましては説明を省略することもありますので、御了承願います。

それでは、議案第19号 関ヶ原町行政不服審査会条例の制定について、詳細説明を求めます。藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第19号、行政不服審査会条例の制定について御説明申し上げます。

議案資料の42ページをお願いします。

これは、行政不服審査法の改正により、行政処分に関与しない職員が審理員となり、第三者機関である行政不服審査会を設置するものであります。この審査会は、申し立てがあった都度に設置する非常設のものとしします。

1番目の設置目的は、第1条において、行政不服審査法に基づく設置としております。

2番目の委員ですが、第3条、第4条で規定し、数は5名以内とし、人選は、弁護士、税理士、行政書士など、その案件に応じた人選としています。

3番目の守秘義務は、第5条において規定していますが、罰則規定はございません。

4番目の施行日は、平成28年4月1日とするものです。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

[挙手する者あり]

9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） これは委員5人以内で、今の説明だと、審査会のほうに不服申し立てがあった場合にその都度委員を選任して、例えば何日以内に選任をし、それは議会のほうに提示されるものなんですか。ごめんなさい、ちょっと私はそこまで勉強不足なのでよくわからないんですけど。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 非常設ということですので、今おっしゃられたように、その案件ごとに設置します。それで、議会のほうには人選について報告はいたしません、ただ、人選の間に時間がかかるというのは事実です。

もうちょっと具体的に言いますと、案件ごとに専門家を配置します。その審議している間に次の案件が来た場合、またその案件の審査会を設置しますので、並行するときもあると思います。人を固めてしまって常設にすると、全く関係ない案件が出たときにその人選ではちょっと不合理が生じるということもありますので、その都度の設置ということにさせていただきます。

○議長（澤居久文君） ほかに。

[挙手する者なし]

これで質疑を終わります。

次に、議案第20号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、詳細説明を求めます。

藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第20号について御説明申し上げます。

議案書の123ページをお願いします。

関連する一部改正条例は、第1条に上げております関ヶ原町情報公開条例、第2条の関ヶ原町個人情報保護条例、第3条の関ヶ原町営土地改良事業分担金徴収に関する条例でございます。

議案資料の43ページをお願いします。

まず関ヶ原町情報公開条例と個人情報保護条例ですが、町において行政不服審査法に基づき裁決を行う場合、審理員による審理手続を経て、執行機関の附属機関として置かれる第三者機関に諮問することとされていますが、これらは既に第三者機関を設置していますから、行政不服審査法第9条第1項の規定により適用除外とするものと、不服申し立ての方法が審査請求という言葉に統一されることによって文言の整理をさせていただきます。

次に、関ヶ原町営土地改良事業分担金徴収に関する条例でございますが、不服申し立ての方法が審査請求に統一されることによる文言の整理と、第3条に不服申し立て期間が規定されていますので、今までは「30日」以内でしたが、これが3カ月の「90日」に改正されるということと、「異議申し立て」という言葉を「審査請求」という言葉に文言を改正するものでございます。

施行日を平成28年4月1日とするものです。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

[挙手する者あり]

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 先ほどの最初の、関ヶ原町行政不服審査会条例という名前ですよね。

今言われた説明の中では、不服申し立てとか異議申し立てというのを審査請求という言葉に、まあ国のほうが変えたんでしょうけれども、町民にとっては非常にわかりにくい文言になるんじゃないかと思うんですが、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 国の法律に従います。

○議長（澤居久文君） ほかに。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第21号 関ヶ原町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第22号 関ヶ原町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について、詳細説明を求めます。

藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第22号について御説明申し上げます。

議案資料の51ページをお願いします。

まず1番目の制定の目的ですが、現行制度では、不服申立人が行政処分担当課から総務課に提出された関係書類等について、閲覧することはできるんですが、写しの交付を受けることができません。そこで、今回の行政不服審査法の改正により、写しの交付を求めることができるようになりましたので、交付手数料について規定する条例を制定してございます。

2番目の手数料の額につきましては、情報公開条例施行規則に規定する書類の写しの交付と同じ額とし、議案書の129ページの額でございます。

3番目は、第2条、第3条に準用される法第38条、81条に関する事務等を掲載してございます。

4番目は、減免規定でございます。以上です。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者あり〕

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） これは手数料に関する条例なので、要は手数料徴収条例の中に取り込むということはなかったんですか。

○議長（澤居久文君） 藤田総務課長。

○総務課長（藤田栄博君） この条例は新設条例で、上からの大体準則というのが来ていまして、当然、手数料条例はありますが、個人情報保護条例とか情報公開条例もこのように、あれも準則に基づいてわざわざ金額が掲示してあるんですが、一応準則に基づいてこのように記載させていただきます。

○議長（澤居久文君） ほかに。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

ここで暫時休憩をいたします。13時まで。

休憩 午前11時55分

再開 午後1時00分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第23号 関ヶ原町職員定数条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。
小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 議案第23号について御説明申し上げます。

議案資料の52ページをお願いします。

病棟数削減により、病院の定数を「135人」から「130人」に改めるものでございます。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第24号 関ヶ原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

藤田課長。

○総務課長（藤田栄博君） 議案第24号について御説明申し上げます。

議案資料の53ページをお願いします。

第3条第3項として、一般の職員が、公務の運営に支障がないと認めるときは、4週間を超えない範囲内で規則で定める期間について勤務時間を割り振ることができるという規定でございます。これは、組織的な対応を行うために全員が勤務しなければならない時間帯を定めておいて、その時間は規則で5時間とします。その5時間の前後の時間帯であるフレキシブルタイムで調整するというところでございます。

また、第4項につきましては、育児または介護を行う職員についての同様の規定でございます。

第5条以下は、字句の修正等でございます。よろしく申し上げます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終わります。

議案第25号 関ヶ原町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第26号 関ヶ原町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第27号 関ヶ原町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第28号 関ヶ原町債権管理条例の制定について、詳細説明を求めます。

兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 議案第28号、債権管理条例の制定について御説明申し上げます。

議案書142ページとともに資料の63ページをよろしく願いいたします。

まず1番、制定の目的についてでございますが、全国的にも地方自治体の債権管理の適正化が強く求められるようになってきており、近隣で言いますと大垣市や養老町など、債権管理条例を制定する自治体が増加しています。

当町では、行財政改革の中で歳入の確保に努めており、債権の確保のために岐阜県へ過去職員の派遣を行ってきたり、水道会計におきましては滞納者に対して給水停止の措置を行うなど、未収債権の解消や滞納の未然防止を図っているところであります。

また、私債権について時効の援用がなされない場合、債権が半永久的に残存することになり、債権管理に支障を来しております。現実におきまして、実際には回収見込みのない債務者、例えば死亡者、行方不明者、倒産した企業等の債権を放棄できずに持ち続けていると、実際の財政状況を正確に把握することもできません。そのため、当町において債権管理の効率化を図るため、また債権に対する基本的な考え方を整理しつつ、徴収不能な私債権については放棄する

ことを可能とするため、本条例を制定するものでございます。

なお、本町における主な私債権には、水道料金、公営住宅使用料、関ヶ原病院の診療費、関ヶ原病院の奨学金がございます。

2番、次に条例の内容についてでございますが、第1条から第5条までが一般的事項の規定でございます。私債権を含む町の全ての債権について、町長の責務及び債権管理体制の整備など、債権管理に必要な一般的事項を規定し、第6条から第12条第2項までが私債権の徴収手続についての規定でございます。地方公共団体が有する債権の管理について、地方自治法施行令第171条から171条の7に処理の規定がありますが、改めて町の私債権について、督促、徴収停止等を規定しております。

第13条は、町の私債権について、時効期間が終了し、かつ債務者が時効の援用をすると見込まれるときは、債権放棄をすることができるということを規定するものでございます。公債権が時効をもって待たなしに債権が消滅することから、私債権につきましても同様の考え方で、時効期間を過ぎないと債権の放棄はできないということとしております。

そして第14条におきまして、債権の放棄を行った場合には、町議会に報告する旨規定しております。

附則としまして、本条例につきましては公布の日から施行することとし、本年度分から適用いたすものでございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

[挙手する者あり]

2番 室義光君。

○2番（室 義光君） 今説明を受けましたが、放棄する場合、放棄した後に議会の承認が要るということで、事前には要らないということなんですか。放棄してしまってから議会で提示されても、それはちょっと筋が通らん、法律上はわかりませんが。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 考え方はほかの公債権と同じでございます。あくまで時効が来たものについて、時効が来ているということは債権的には徴収のあれがちょっと厳しくなっておるわけなんです。それについては後で公債権と同じように報告をするという形での条例でございます。

○議長（澤居久文君） ほかに。

[挙手する者あり]

9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） これは私債権に関する部分で、時効が過ぎた場合、放棄することを認め

る条例ですよね。例えば今現在、27年度から適用するということになりますと、今現在どれだけの未回収があって、27年度は幾らの債権放棄をするのか、そのところの数字というのは把握されているんでしょうか。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 現在までに、債権というか、不納欠損処理というのは実は毎年行っております。例えば昨年度で言いますと36万1,800円、ごめんなさい、水道の分しかちょっと把握しておりません。水道の分で言いますと36万1,800円、昨年度で不納欠損処理をしております。今年度につきましては、先ほどの補正予算で実は計上をいたしておりましたが、およそ80万円ぐらいだったと思うんですけど、先ほどの議案に上がっているとおりでございます。

それで、水道で言いますところの現在の滞納額、過年度分で申し上げますと2,100万円ほど実はございます。そのうちの、どうしても死亡とか、先ほど申し上げましたようなやつについては徴収不能でございますので、不納欠損処理をしているというような内容でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） 今の例えば滞納分で2,100万円あってという部分で、欠損で落とすのはいいんですが、例えばその過程で、ここの案件に関してはこういうふうなことをやったけど、結果的にその対象者が死亡しているため回収不能であるという部分の、何かひもづけるようなところがないことには、報告だけを我々が受けたとしても、従来の回収にどのような形での行動を伴ったのか、以前からよく町長が言われますP D C Aサイクルにのっかってやらないと、安易に結果だけを報告されても大変困る条例ではないのかなというふうに危惧するわけなんです、そのあたりのことを教えていただきたいのと、それと、今、水道料金に関しては聞きましたが、公営住宅、病院、奨学金も、今わかる範囲で結構ですので、教えていただければと思います。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） この条例につきましては、あくまで私債権の放棄につきまして、第13条で確かに放棄することができる旨はうたっておりますが、その前におきまして、当然やらなくてはならないということを必ずやるというか、今後はきちんとやっていくといった趣旨の条例でございます。やることをやった上で結果として債権の放棄、債権の放棄ができないというのは非常に困る部分がございますので今回上げさせていただいておるわけでございますが、そのような中で、必要な処理についてはきちんとやっていくというような内容でございますので、御理解をいただきたいと思っております。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 9番。

○9番（川瀬方彦君） 今おっしゃられることは机上論であって、今までそういうところが目に

見えてないから、きちんとしたひもづけをしてほしいという部分の、例えば書式で残すだとか、こういうふうなアプローチをしたけどこうだったよという部分の、第三者が見てもわかるような形のことを考えていただかないと、最後になってこれで欠損金として落としますよという部分だけでは、普通、一般民間企業であったらあり得ない話だと私は思いますので、あえてそこを強く言ったんですが、そのあたり、書式等を出していただくというふうな形のことを、今の私債権に関する部分のあれはまとめていただくことはできないんでしょうかということなんです。お願いします。

○議長（澤居久文君） 児玉水道環境課長。

○水道環境課長（児玉勝宏君） 水道の例で言いますと、最近、確かに給水停止という措置はしているんですが、そこにいくまでにおいて、まず督促というものをすぐに出しまして、その後、催告、それから給水停止の予告、それから実際に給水停止、それからまた納付者との納付相談はケース・バイ・ケースにより進めながら、各個人のファイルについてはきちんと管理をいたしております。今後も自治体としてそんないいかげんに債権を放棄するということはなしに、今回の条例にのっとってきちんと債権は管理していきたいというふうに考えております。

○議長（澤居久文君） 西村産業建設課長。

○産業建設課長（西村克郎君） 産業建設課のほうでは町営住宅の使用料というところがございます。今年度で過年度分の滞納分は約540万円ほどございます。そのうちで、もし時効が来たものを放棄ということになれば270万円ほどになるんですが、うちのほうとしても少しずつでも回収できている部分もございますので、引き続き、債権放棄というところまではいかずに、徴収のほうに努めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（澤居久文君） 病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 病院分の未収金ですが、平成12年度から今までの分で大体780万円ほどございます。病院のほうも督促状をずうっと出し続けてやっていますけれども、督促状が住所不定で返ってくるのが数件まだあります。去年に不納欠損金として平成21年度分までは600万円ほど計上させていただいていますので、現在、22年度以降で184万円ほど残っているのが現状でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（澤居久文君） 9番 川瀬方彦君。

○9番（川瀬方彦君） 現状これからも努めてもらわなきゃいけない部分で、この条例を制定したことによって今の欠損金ということで処理することになっていくということに対して、先ほども申しましたけど、あくまでもプロセスがあって、行動した結果がこうだったという部分で必ず行っていただきたいと思えます。

さらに、近隣でいくと垂井町、固定資産税の納付がされていない場合、各その方の金融機関

のほうまで、本人には赤紙が行きます。赤紙で当然督促がかかります。金融機関のほうの資産差し押さえという部分まで行ってみえます。例えば関ヶ原町においてそういうふうなことはまだ……。

[発言する者あり]

公債権と私債権、済みません、それは私の勘違いであれですけど、ただ、そのような形でできるだけ回収をするという方向性の強い意志を持っていただきたいという部分でよろしくをお願いします。

○議長（澤居久文君） ほかに。

[挙手する者あり]

1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 免除規定があるんですけど、この免除に対する基準ってありますか。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 免除の規定は第12条に記載がされておりますが、これはそのままなのでございますが、実際におきまして法律の条文そのままでございます。結局、債務者が無資力またはこれに近い状態にある場合等々で、向こうが言われた場合においては免除することができる。さらに、10年を経過した場合、これはほとんど時効と同じなんですけど、免除をすることができる。この免除というのと債権の放棄はちょっと違う部分がございますので、免除は免除の規定で残しているというようなものでございます。これはあくまで本人さんが免除してほしいと言われた場合等々で、こっちが免除オーケーですよという、そういった処理だということでございます。よろしくをお願いします。

[挙手する者あり]

○議長（澤居久文君） 1番 谷口輝男君。

○1番（谷口輝男君） 今のお話で、無資力のこちらからの基準というか判断、いわゆるどの程度までとかいう判断、こちらで勝手に判断してそれをやるのかなというイメージがあったもので、それともう1つ、滞納というか、その部分に関しては個人情報的なものがあるんですけど、この個人情報的なものの管理的なものはどうでしょうか。

○議長（澤居久文君） 兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 現在のところ、14条におきます私債権の放棄については、個人情報は当然想定をいたしておりません。基本的には、ほかの公債権と同じ方法で決算処理をしたということの内容での御報告ということでかえさせていただきたいと思っております。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

[挙手する者なし]

これで質疑を終わります。

議案第29号 関ヶ原町体育館条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

岩田社会教育課長。

○社会教育課長（岩田英明君） それでは、議案の145ページになります。

議案第29号 関ヶ原町体育館条例の一部を改正する条例についてでございます。

議案資料のほうは64ページになります。

こちらは、今年度、取り壊しをいたしました北部体育館の項目を削除させていただき改正となっております。

説明は以上とさせていただきます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者あり〕

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） その後の利用については何か決まっているのでしょうか。

○議長（澤居久文君） 岩田社会教育課長。

○社会教育課長（岩田英明君） 一応、史跡地内でありますので、今策定をしております整備計画の中でも一応計画はしていきますけれども、今のところ近々にどうするということまではいっておりません。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第30号 関ヶ原町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 議案147ページ、資料のほうは65ページをごらんください。

小学校1年生から中学校3年生までの医療費に係る部分でございますが、今年度までは合計所得600万円を超える方については対象から外しておりましたが、平成28年度からは所得制限を外すものでございます。今年度ですと、22世帯35名の方が所得制限によって該当から外れていたということでございます。よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔挙手する者あり〕

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 今回は所得制限を外すということなんですが、年齢を引き上げるというのはお考えにはならないのでしょうか。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） 今年度の予算にも上がっておりますけれども、今のところ考えてはおりません。

○議長（澤居久文君） ほかに。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第31号 関ヶ原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 議案第31号、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について御説明申し上げます。

資料の66ページをよろしく願います。

4月からのプラスチック製容器包装の収集に合わせ、所要の改正を行うものでございます。具体的には、ビニール・プラスチック類のごみ袋と、既に需要もないことから随分前より販売を行っておりません燃やせるごみのシールを廃止し、新たにプラスチック容器包装用の収集袋の販売を始めるものでございます。

なお、金額の変更はございません。よろしく願います。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第32号 関ヶ原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 議案151ページ、資料のほうは67ページをごらんください。

これは、平成28年1月に閣議決定されました国民健康保険料の算定時の賦課限度額を昨年に引き続き見直すものでございます。基礎賦課額が「52万円」から「54万円」で2万円アップ、後期高齢者支援金等賦課額が「17万円」から「19万円」の2万円アップ、介護納付金賦課額16万円は据え置きというものです。

また、低所得者に対する国民健康保険料の軽減措置といたしまして、7割軽減の方は改正前と同じ33万円以下、5割軽減の方は33万円プラス「26万円」のところ「26万5,000円」というふうに5,000円引き上げになります。また、2割軽減の方は33万円プラス「47万円」が「48万円」ということで1万円引き上げになります。関ヶ原町では、現在、7割軽減世帯が265世帯、5割軽減世帯が200世帯、2割軽減世帯は193世帯ですが、平成28年度にはさらに軽減世帯がふえるというふうに予測しております。以上です。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

[挙手する者あり]

5番 田中由紀子君。

○5番（田中由紀子君） 軽減が広がるということは大歓迎なんですけど、賦課額の限度額をふやすというところでは、結局、保険料の計算の仕方が、資産割と所得割というのが今は大体半々ぐらいだと思うんですが、例えば工場をやってみえる方は、結局、固定資産が大きいので、その工場の分ですね。なかなか事業でとんとんぐらいの営業をしてみえる方などにとっては非常に負担が重くなると思うんですけど、例えば所得が少ない場合は、そういう方であっても軽減の、法定減免じゃなくて、町独自の減免という対象にするとか、そういうところは私はやっぱり考えていくべきだと思うんですが、その辺はどうでしょうか。

○議長（澤居久文君） 西脇町長。

○町長（西脇康世君） 今、プログラム法によりまして、今度、国保のほうは県のほうで一括管理という形になると。その中で徴収方法についても議論されるだろうというふうに思っておりますけれども、今のところ賦課方法がどうなるかというのは決まっておられませんというか、まだ見えてないということです。そういった状況も見合わせながら考えていかなければなりません。今、町単独でその分を減額するとか、そういうことは国保財政の現状から考えても考えておりません。

○議長（澤居久文君） ほかにありますか。

[「なし」の声あり]

これで質疑を終わります。

議案第33号 関ヶ原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 議案の153ページ、資料の70ページのほうをごらんください。

これは、関ヶ原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてでございます。国のほうで新しく基準が設けられましたので、それについて同様に関ヶ原町も定めるものでございます。

その中で変わっているところというのは、国の省令基準を同じといたしますが、記録の保存年限のみ、「2年間」を町は「5年間」、過誤の関係がありますので5年間にするということと、認知症対応型通所介護事業所に運営推進会議を義務づけるということ、介護保険法の条項が繰り上げ・繰り下げになるということで条項を改正するというところでございます。

現在、町内に定員18名以下の通所介護事業所がない状態でございますので、これは現在は関ヶ原町で該当する対象はないというふうに思っております。以上です。

○議長（澤居久文君） 質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第34号 関ヶ原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、詳細説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 議案の174ページ、資料のほうは117ページをごらんください。

これも国の省令と同様の基準でございます。関ヶ原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてでございます。

これは介護予防サービスでございますので、介護認定の要支援1・2の方に対する通所介護等でございますが、これは現在、うらのほうの今のところ通所介護のほうをやっておりませんので、関ヶ原町で該当する部分はございませんが、同様に改正するものでございます。

これも前の条例で御説明したように、改正点としては、保存年限を「2年」から「5年」にするというようなところでございます。以上でございます。

○議長（澤居久文君） これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第35号 関ヶ原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第36号 大垣地域公平委員会の共同設置に関する規約の変更に関する協議については、詳細説明を省略いたします。

これより質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

議案第37号 平成28年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計への繰入れについてから議案第39号 平成28年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計への繰入れについては、詳細説明を省略いたします。

続きまして、議案第40号 平成28年度関ヶ原町一般会計予算について、総括の説明を求めま

す。

吉田監理官。

○監理官兼会計管理者（吉田和司君） それでは、平成28年度関ヶ原町一般会計予算等の総括説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、お手元の資料の28年度予算資料、A4の横になると思いますが、ごらんいただきたいと思います。

1 ページ目をお願いします。

1 ページ目は縦になっておりますが、先ほど町長の提案説明でもございましたが、平成28年度の予算は、特別会計等を含めまして総額91億4,657万8,000円で、前年比1.9%の減となっております。そのうち一般会計は36億9,980万円で、前年に比べまして4,300万円の減で、率としましては1.1%減の予算となったところでございます。特別会計につきましては、公共下水道特別会計を除く全ての会計で増額となっておりますが、特別会計全体では0.1%の減となったところでございます。また、企業会計の水道事業会計、病院事業会計は、ともに減額となりまして、合計で4.6%の減となったところでございます。

それでは、一般会計の歳出でございますが、資料の5ページのほうをよろしく願いいたします。

各款の前年度との比較でございますが、主な増減の要因につきまして簡単に御説明をさせていただきます。

まず議会費でございますが、165万円の減で3.0%の減、これは議員共済会給付費負担金の減によるものでございます。

2番目の総務費でございますが、1,022万5,000円の減で2.3%の減となっております。これは番号制度に伴うシステム改修費等の減と、人件費の減によるものでございます。

3番目の民生費でございますが、3,361万4,000円の増で3.8%の増でございます。これは年金生活者等支援臨時福祉給付事業の増によるものでございます。

4番目の衛生費ですが、5,970万円の増、10.5%の増となっております。これは病院事業への負担金の増によるものでございます。

6番目の農林水産業費ですが、469万4,000円の減で3.2%の減となっております。これはヤギ関係経費の皆減や、広域農道整備事業負担金の減によるものでございます。

〔発言する者あり〕

ごめんなさい、5番の労働費ですが、332万3,000円の減、43.2%の減となっておりますが、これは働く婦人の家を廃止いたしまして公民館の別館として管理をすることに伴いまして、教育費へ組み替えを行ったことによるものでございます。申しわけありません。

続きまして、7番目の商工費ですが、398万8,000円の増、3.3%の増となっております。こ

これは、m a y ! m a y ! 管理費が事業廃止により皆減となりましたが、人件費及び駅前観光交流館指定管理委託料やランドデザイン関連事業により増額となっております。

8番目の土木費ですが、2,555万7,000円の減、5.5%の減となっております。これは人件費や都市計画基本図修正業務、公共下水道事業特別会計繰出金の減によるものでございます。

9番目の消防費ですが、1,069万4,000円の減、6.6%の減となっております。これは不破消防組合への負担金が減になったことによるものでございます。

10番目の教育費ですが、1億535万6,000円の減、19.7%の減となっております。これは人件費の減や、関ヶ原中学校の柔剣道場耐震補強工事やグラウンド改修工事の完了によるものでございます。

各科目の主要事業の内容につきましては、後ほど担当課長から説明をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

続きまして、申しわけありません、9ページをお願いいたします。

9ページにつきましては、性質別比較表となっております。歳出科目の増減と大きな理由は重複いたしますが、簡単に説明をさせていただきますと、義務的経費は、人件費が9.8%の減、公債費が24年度臨時財政対策債の据置期間が終了等によりまして5.6%の増となりました。

投資的経費につきましては、普通建設の補助事業費が3,108万6,000円、41.2%の増、これは決戦地の整備事業によるものでございます。普通建設の単独事業ですが、9,339万1,000円の減、37.0%の減となっておりますが、主なものは関ヶ原中学校のグラウンド改修工事によるものでございます。

その他の経費の補助費等については1億979万3,000円の増、15.2%の増となっておりますが、これは病院事業への負担金等の増によるものでございます。それから繰出金につきましては1,114万円の増、2.4%の増となっております。これは国民健康保険や介護保険への繰出金の増によるものでございます。その他につきましては、維持工事費等の減により1,880万9,000円の減、43.2%の減となったところでございます。

以上でございますが、繰出金と出資金につきましては11ページに内容が記載をされております。また、13ページにつきましては基金残高の見込みの一覧表を掲載しておりますので、参考にさせていただきたいと思っております。

以上、簡単ですが、一般会計の歳出の概要説明とさせていただきます。よろしく願いします。

○議長（澤居久文君） これより歳出について順次説明を求めますが、予算主要事業説明一覧表に基づいて主なものを簡潔に説明を受けたいと思っておりますので、御了承の上、御協力を願います。

なお、款の中でも担当課が分かれているところがありますので、あらかじめ指名はいたしません。何ページということを示していただいて順次説明のほどよろしく願いいたします。

それでは、順次説明をお願いします。

○総務課長（藤田栄博君） それでは1ページをお願いします。

総務費の総務管理費ですが、その中の地方公会計整備事業375万円ですが、これは統一モデル版財務書類作成支援業務308万5,000円につきまして、現在の単式簿記から複式簿記への変換のための公会計システムの導入に係る公認会計士等による助言業務委託でございます。

次に、すぐその下の公共施設等総合管理計画策定事業423万4,000円ですが、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減するとともに、公共施設の適正な配置を実現するための計画でございます。

次、ちょっと飛びまして、防災無線、地域防災事業の1,254万2,000円ですが、そのうちの、説明書の一番上ですが、県防災情報通信整備事業負担金1,187万1,000円ですが、これは県の防災システムが老朽化ということで、28年度、29年度の2カ年で県が整備します。そのうち役場に設置する機械の費用の2分の1を町が負担し、2分の1は県で持っていただきますが、そのシステム整備のものでございます。

次の自主運行サービスの補助事業105万7,000円は、名阪近鉄高速バスにお願いしております関ヶ原多良線の名阪への補助金です。

そして、ふれあいバス運行事業ですが、654万2,000円。これは、ふれあいバスの委託ということで、シルバーのほうへお願いしている分でございます。

○税務課長（田中常敏君） 同じく1ページの徴税费でございます。固定資産評価基礎資料整備委託の699万8,000円につきましては、例年どおり行っておる事業でございます。土地家屋図面の更新、調書の作成等の事業でございます。

それから下のほうにちょっと行きまして、固定資産税委託事業の中で、土地家屋台帳管理システム更新・保守につきましても例年実施しておる事業でございます。土地整理図・土地家屋台帳更新業務でございます。

それからちょっと下のほうに行きまして、標準宅地鑑定評価委託の475万2,000円につきましては、これは評価がえ作業のために必要な事業でございます。3年ごとに実施している事業でございます。以上でございます。

○総務課長（藤田栄博君） 2ページの上から2個目の選挙費というのがございます。新年度におきましては、11月の町長選挙、次、7月の参議院選挙、来年1月の県知事選挙、この3つの選挙費をそれぞれ計上してございます。

○住民課長（河島玲子君） 2ページの戸籍住民台帳費ですが、前年とほぼ同様でございます。ただ、マイナンバーの関係で少し経費が下がっております。

次に、民生費でございますが、例年並みに平和祈念事業、小規模授産事業、さくらんぼの家ですが、同様に支出しております。

また、母子福祉年金も前年と同様、重度心身障がい者福祉年金も同様。

町社会福祉協議会負担金につきましては、今まで100%出しておりましたが、28年度から半額というふうで減額をしております。

国民健康保険事業のほうは、特に保険基盤安定ということで4,700万円、前年度よりかなりふえておりますが、これは低所得者に対するものでございますが、これは国の調整交付金のほうでいただけるものでございます。

地域福祉相談事業につきましては、前年どおりです。

障がい者自立支援事業につきましては、はびりす等への支出がかなりふえておりますので、少し増額をしております。

臨時福祉給付金給付事業ですが、今年度に引き続き来年度も低所得者の方に3,000円という給付がございますので、それを行っていきます。

敬老会開催事業につきましては、記念品等の見直しによりまして減額をしております。

あと大きいものとしたしましては、年金生活者等支援事業臨時給付金の関係ですが、3万円が1人当たりいただけるということで、65歳以上の方で年金の少ない方という今年度の該当者の方に支給をするものが3,000万円ふえております。

介護保険事業繰出金は、給付分がふえておりますので、増額をさせていただいております。

あと、後期高齢者困窮事業につきましても、給付費が少しふえておりますので、増額をさせていただいております。

あと、入学祝い金等、前年並みに実施しております。

子育て応援給付金事業につきましては、3人目のお子さんということで9名の方を今予定しております。

あと、児童手当も今年と同様に行っていく予定でございます。

あと、保健衛生のほうでございますが、ことしから不妊治療ということで少し治療費代を増額させていただいております。

また、予防接種が少しふえてきておりますので、それも増額をしております。以上でございます。

○水道環境課長（兒玉勝宏君）　引き続きまして5ページでございますが、公害対策事業につきましては、総合環境調査の委託分として356万4,000円、例年どおりでございます。

それから合併処理浄化槽設置整備事業補助金につきましては、次年度につきまして2基271万7,000円を想定しております。

斎苑管理事業につきましては、炉の改修工事、4年計画のうちの2カ年目でございます。今年度と同額ということで、よろしく願いいたします。

清掃費につきましては、各種負担金、組合等の負担金につきましては、どれも若干の減という

こととございます。

それから町指定ごみ袋につきましては、今年度、大きなつくりかえがございましたが、次年度はまた通常分の更新分のみを計上いたしておりますので減っております。以上です。

○産業建設課長（西村克郎君） 農林水産業費、農業費でございます。農業振興地域計画策定事業は、平成27年度、今年度からの2カ年で行っております。391万1,000円は28年度の45%分でございます。

1つ飛びまして、中山間地域等直接支払事業、今年度から第4期対策が始まっておりまして、20協定分でございます。

ちょっと下のほうへ行きまして、新規就農者確保事業300万円でございますが、平成26年度からの新規就農者1名分150万円と、28年度も新規就農者がどなたか見えないかということで1名分を見込んでおります。

経営体育成支援事業450万1,000円につきましては、融資型の補助事業、農業機械等の補助でございます。平成26年度からの新規就農者の田植え機ほかを見込んでおります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、平成26年度からの5年間7協定と平成27年度からの5年間3協定分の317万3,000円でございます。

6ページをお願いいたします。

元気な農業産地構造改革支援事業で720万円でございます。農業用機械とか施設の補助金でございます。事業費の30%を補助するもので、県が25%、町が5%でございます。来年度は東部営農の汎用コンバインとJAの育苗センターを見込んでおります。

集落営農システム確立事業40万円につきましては、営農組合の法人化を支援するもので、20万円の2営農組合、松尾営農と北部営農でございます。

続きまして、林業費でございます。町単独間伐推進事業200万円でございますが、間伐に対する補助が12ヘクタール分と、それに伴う作業道の開設事業2路線分でございます。

有害鳥獣捕獲事業985万円につきましては、例年とほぼ同額でございます。

森林整備地域活動支援事業62万円につきましては、森林組合等が間伐を行うための計画を策定するもの他でございます。

山のみち地域づくり交付金林道事業891万5,000円につきましては、旧緑資源幹線林道の建設事業で、明神の森の揖斐川町境付近を今県のほうで施行をしていただいております。以上でございます。

○地域振興課長（高木久之郎君） 商工費でございます。町商工会助成事業として868万円。

駅前観光交流館の指定管理料として500万円です。

関ヶ原おもてなし観光振興事業として500万円。これは、またことしも笹尾山付近等でイベント等を開催していきたいというふうに思っております。

関ヶ原観光協会運営補助金として400万円。

笹尾山交流館運営補助金として300万円、また北小学校を活用して甲冑体験等をしていきたいというふうに思っております。

関ヶ原古戦場ランドデザイン事業といたしまして、主に旧北小学校の利用計画等の策定事業600万円、観光サインの設置工事等を進めていきたいというふうに思っております。

7ページに移りまして、国際交流事業158万円、ゲディスバーグ区との交流です。主に2名分の旅費を見ております。

観光施設整備事業、主に馬防柵、ことしは少しかえていきたいというふうに思っております。遊歩道整備事業215万9,000円、東海自然歩道の維持管理となっております。

次に、グリーンウッド関ヶ原の管理事業でございますが、ことし若干上がっておりますが、ことしは自動火災報知機設備を整備したいというふうに考えております。

最後に、消費者行政推進事業として16万円、これは啓発パンフレット等を印刷していきたいというふうに思っております。以上です。

○産業建設課長（西村克郎君） 続きます、土木費の道路橋梁費でございます。町道維持補修事業としまして5,759万3,000円でございます。道路の維持補修、また橋梁の補修工事、通学路対策工事、橋梁点検、来年度は橋梁の長寿命化計画の策定業務を行う予定でございます。

道路橋梁新設改良事業は6,311万円。中山道今須宿線ほか舗装改良工事と、3年間の委託をしております新幹線跨線橋耐震補強工事委託、最終年でございます。

県事業負担金としまして2,075万円。県道牧田関ヶ原線の負担金でございます。

河川費といたしましては、県営急傾斜地崩壊対策事業の負担金としまして500万円。今須新明地内の急傾斜地の崩壊対策事業の工事負担金でございます。以上でございます。

○西消防署長（田中文男君） 7ページを引き続きごらんください。

消防費です。

不破消防組合の負担金といたしまして1億2,484万1,000円を計上いたしております。以上です。

○学校教育課長（三宅芳浩君） 8ページでございます。

教育費、教育総務費、留守家庭児童教室でございますが、平成28年度も本年度同様実施する予定で664万8,000円でございます。

小学校費、小学校施設整備事業でございます。関ヶ原小学校の防犯カメラ設置工事ほか129万1,000円、今須小学校の給食室の床改修工事ほか204万6,000円で、333万7,000円でございます。

小学校備品整備事業でございます。関小、今須小とも一般備品、図書、給食備品、教材費等で142万7,000円でございます。

中学校費でございます。教師用指導書等整備事業、これにつきましては、来年度より中学校の教科書が新しくなりますので、それに合わせまして教師用指導書及び指導用教材等を購入いたしますので、その費用としまして898万9,000円でございます。

それから、中学校備品整備事業でございます。関中、今須中、それぞれ備品を購入いたしますので150万2,000円でございます。以上でございます。

○社会教育課長（岩田英明君）　続きまして、社会教育費ですが、9ページをごらんください。

上から6段目、史跡整備事業、事業費9,434万8,000円でございます。こちらはグランドデザインの史跡整備事業に係る分となっております。内訳としましては、決戦地及び石田三成陣地の整備工事費が8,055万5,000円、設計業務委託料が1,336万8,000円、史跡整備検討委員会に係る経費などが42万5,000円となっております。こちらは今年度と同じように、国が2分の1、県が補助残の3分の2という補助金を使う事業となっております。なお、工事の主な内訳としましては、三成陣地の展望スペース及び散策路の改修、旧北小グラウンド内のバックネットや遊具などの撤去、周辺樹木の伐採などとなっております。

続きまして、2つ下の各種社会教育施設管理事業、こちらの公民館管理事業費で980万3,000円です。こちらは、今年度いっばいで婦人の家を廃止いたしまして、来年度から公民館別館として運営することになっております。統合によって人件費など約150万円の予算の減額となっております。また、その下の歴史民俗資料館管理事業1,463万3,000円です。こちらは来館者の増及び駅前交流館のお休みなどを考慮しまして、来年度は、12月から2月を除きまして、従来休館日であった月曜日を開館することにいたしました。その人件費49万6,000円などの増を盛り込んだ予算となっております。

以上とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○監理官兼会計管理者（吉田和司君）　それでは引き続き、一般会計の歳入の説明をさせていただきます。

先ほどの資料の3ページをごらんいただきたいと思います。

それでは最初に、1番の町税でございますが、全体で12億8,602万9,000円で2,828万1,000円の減、2.2%の減となっております。固定資産税が時点修正によりまして土地評価額の下落により3,100万円の減となっております。

譲与税、交付金につきましては、地財計画等、これらの実績によりまして予算化をさせていただきました。

飛んでいただきまして、14番の国庫支出金ですが、3,907万3,000円の増ということで、主なものとしましては、社会保障・税番号システム整備に係る補助金等は大きく減りましたが、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業や決戦地の整備事業に伴いまして補助金の増になり、18.8%の増となったところでございます。

次に、15番の県支出金ですが、4,589万1,000円の増、22%の増となっております。これにつきましては、ランドデザイン関連事業に伴う補助金や、参議院議員選挙、あるいは県知事選挙に伴う委託金の増でございます。

次に、18番の繰入金でございますが、1億円が減額されておりますが、これは教育施設基金の減でございます。

19番の繰越金につきましては、例年5,000万円ほどを計上させていただいておりますが、28年度につきましては7,000万円を計上させていただきました。

それから、21番の町債につきましては3,400万円の減、12.9%の減ですが、臨時財政対策債や県防災情報通信システム整備負担金等、前年度同様、最小限の予算化とさせていただきました。

次に8ページをごらんいただきたいと思います。

8ページにつきましては、性質別の比較でございます。自主財源と依存財源の円グラフですが、平成28年度は、7ページの比較表にもありますが、固定資産税の減に伴う町税の減や、関ヶ原中学校柔剣道場耐震補強工事等の終了による繰入金の減等によりまして、27年度に比べ依存財源の比率が少し高くなっております。

以上、簡単ですが、歳入全般の説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（澤居久文君） 御苦労さまでした。

ここで暫時休憩をいたします。15分まで。

休憩 午後2時01分

再開 午後2時15分

○議長（澤居久文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、議案第41号 平成28年度関ヶ原町後期高齢者医療特別会計予算の説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 平成28年度の後期高齢者医療の説明をさせていただきます。

資料の10ページのほうをお願いいたします。

事業説明一覧の10ページですが、前年度に引き続き特別ありませんが、給付費がふえる分で広域連合への納付金が349万4,000円の増額となっております。

歳入につきましては、保険料が少し対象者がふえるということで、100万円ほどですが、多くなる予定をしております。以上です。

○議長（澤居久文君） 議案第42号 平成28年度関ヶ原町国民健康保険特別会計予算の説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 続きまして、平成28年度国民健康保険特別会計の予算について御説

明をさせていただきます。

予算主要事業説明一覧の10ページからをらんください。

平成27年度に対しまして、一般の療養給付費が3,000万円、療養費が255万円、高額療養費が200万円、退職者医療が150万円というふうに伸びておりますので、その分が予算的には増額となっております。

また、前々年度の後期高齢者等の給付金の関係で、一部補助金がたくさん基盤安定等が入ってくる予定をしております。以上です。

○議長（澤居久文君） 議案第43号 平成28年度関ヶ原町介護保険特別会計予算の説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 予算主要事業説明一覧の12ページからをらんください。

介護保険特別会計でございますが、前年に比べまして1,390万円の増となっております。これは居宅介護サービス費が1,700万円、地域密着型介護サービス200万円、居宅介護サービス400万円、介護予防サービス給付費180万円、介護予防ケアマネジメント、人件費でございますが、561万円。財政安定化基金の償還金が、前年度は500万円でしたが、1,000万円の借金返済ということで500万円ふえております。

反対に、施設給付費が2,200万円、特定入所者が380万円等の減額となっておりますが、前年度に比べて給付費はかなりふえております。以上でございます。

○議長（澤居久文君） 議案第44号 平成28年度関ヶ原町介護サービス事業特別会計予算の説明を求めます。

河島住民課長。

○住民課長（河島玲子君） 平成28年度予算主要事業説明一覧の14ページをらんください。

介護サービスにつきましては、近年、ヘルパーステーション事業の利用者が減っておりますので、その分が減額をしております。

あとは、訪問看護ステーションとデイサービス等は、臨時職員の賃金等の増によりまして増加をしております。前年に比べまして400万円ほど増額をさせていただいております。以上でございます。

○議長（澤居久文君） 議案第45号 平成28年度関ヶ原町玉農業集落排水事業特別会計予算の説明を求めます。

兒玉水道環境課長。

○水道環境課長（兒玉勝宏君） 15ページをよろしく願いたします。

玉農業集落排水事業特別会計につきましては、前年度1,690万円から平成28年度予算は1,920万円となっております。差額230万円の増加につきましては、ほぼ全額が最初の行にあります

下水道管理システム構築業務委託の分でございます。こちらは、数年後に公共下水道への接続を予定している関係上、その設計検討上の基礎データとして既存の下水道システムに玉農業集落排水のデータを新規追加整備するものでございます。

あとは同額ということで、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） 議案第46号 平成28年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計予算の説明を求めます。

児玉水道環境課長。

○水道環境課長（児玉勝宏君） 引き続き15ページをよろしく願いいたします。

今須農業集落排水事業特別会計におきましては、今年度5,410万円から次年度予算5,690万円となっております。差額の大半が起債償還金の関係で増加しているものによるものでございます。

その他、大幅な今年度からの変更はございません。よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） 議案第47号 平成28年度関ヶ原町公共下水道事業特別会計予算の説明を求めます。

児玉水道環境課長。

○水道環境課長（児玉勝宏君） 引き続き15ページをよろしく願いいたします。

公共下水道事業特別会計におきましては、今年度予算4億3,680万円から次年度予算3億8,910万円と、大幅な減となっております。

まず公共下水道施設管理事業ですが、約200万円の減額となっておりますが、処理施設維持管理の一般修繕料の減の分でございます。

次に、公共下水道建設事業につきましては、今年度当初予算1億5,026万5,000円から次年度予算は1億205万2,000円でございます。こちらにつきましては、処理場の地震対策設計費等が増加しておりますが、面整備工事の減が大きいことによることからでございます。

公債費につきましては2億106万6,000円から2億354万5,000円に増加しております。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） 議案第48号 平成28年度関ヶ原町水道事業会計予算の説明を求めます。

児玉水道環境課長。

○水道環境課長（児玉勝宏君） 資料の16ページをよろしく願いいたします。

平成28年度の関ヶ原町水道事業会計予算でございます。

収益的収入及び支出の予定額につきましては2億842万円で、資本的収入が439万6,000円、資本的支出が9,256万6,000円の予定額でございます。

主要事業説明のところの最初の部分、3条予算、収益的支出についての主なものの説明をさせていただきます。

原水及び浄水費につきましては、電気保安協会から指摘のありました平井浄水場の高圧ケーブルの交換工事などを予定しております。

配水及び給水費におきましては、次年度も漏水調査を行う予定としております。

次に4条予算、建設改良費としまして、原水及び浄水施設建設改良費におきまして、平井浄水場におきまして第6号井戸の掘削のための設計を予定しております。現在、関ヶ原地区では、JR南側地域におきまして野上地区まで平井浄水場の水に平成24年度から切りかえておりますが、夏場になりますと、水道使用量が多い日になりますと配水池の水位低下が発生するという非常に危険な状態の日がございます。故障などが発生いたしますと、ゆとりのないこのような状態では大変問題でございますので、平井浄水場から藤古川浄水場に向けて送配水管の工事を実施してはりましたが、緊急性が高いため、優先的に整備させていただくものでございます。

また、配水及び給水設備建設改良費におきまして、昨年度に陣場野地内におきまして150ミリに増径をした箇所がございますが、その続きでございます。途中区間が100ミリの管となっております場所につきまして同じく150ミリに増径するとともに、JR南側との安定接続のため、減圧弁を整備させていただく予定でございます。第4次拡張整備事業の一環として実施をさせていただきたいと思っております。

以上が重立った内容となっております。よろしくお願いたします。

○議長（澤居久文君） 議案第49号 平成28年度関ヶ原町病院事業会計予算の説明を求めます。

小林病院事務局長。

○病院事務局長（小林好一君） 平成28年度関ヶ原町病院事業会計予算資料をお願いします。

まず1ページでございます。

収益的予算といたしまして、収入が22億9,900万円、支出が22億9,800万円で、予算上は黒字という形で組ませていただいております。

資本的予算につきましては、収入は7,285万5,000円、支出は1億8,819万2,000円で、不足する1億1,533万7,000円は、過年度分損益勘定留保資金6,723万3,000円と現年度分損益勘定留保資金4,807万6,000円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2万8,000円で補填をさせていただきます。

上段右上の表ですが、町からの繰出金につきましては、負担金として1億8,450万6,000円、出資金6,561万4,000円で、合計2億5,012万円で予算を組ませていただいております。

左下の業務予定量ですが、今回、病棟再編により、地域包括ケア病棟を38床とし、基本入院料が2万5,580円、看護職員配置加算1,500円、看護補助者配置加算1,500円、救急在宅支援病床加算1,500円で、1日当たり合計3万800円で、病棟稼働率95%。障害者病棟を50床とし、前年度実績3万円で、稼働率96%。外来につきましては、歯科が廃止になりましたので、1日当たりの外来収益が1万6,600円、1日平均220人の年間291日で算出いたしました。この入院の

稼働率につきましては、現在、障害者病棟の入院患者さんと療養病床に入院してみえる患者さんをコントロールし、ほぼ満床状態をキープできるように現在作業を進めております。また、地域包括病棟は、ほかの療養病棟や地域包括病棟を持っている病院や老健施設との連携が円滑にできるように、稼働率をキープする予定でおります。

続きまして、2ページの収益的収入ですが、先ほど説明しましたとおり、入院患者数の減少で昨年度より医業収益が2億2,750万円ほど減収しております。

医業外収益の中の放課後デイサービスにつきましては、前年度実績をもとに1日8人利用で利用日数175日、送迎加算を追加し1,580万円、保育所等訪問を年間50回で67万円、支援相談が120回で156万円で、合計1,800万円で計上をさせていただきました。

続きまして、3ページの収益的支出ですが、給料は、職員数126人から116人で組ませていただきました。賃金は、現院長の瀬古先生の週4日と楊先生の週3日、健診に当たり、2名に人件費が増額となっております。

材料費、経費につきましては、2病棟による患者数減少に伴い、前年比6%から10%の減少をしています。委託料につきましても、医事事務、院内清掃業務見直しにより、前年度比13%削減しました。

減価償却費は、前医療情報システム資産の減に伴い、17%の減少となりました。

5ページをお願いします。

放課後デイサービス等費用につきましては929万円の見込みで、給与費は基本的にパート職員の賃金を見ております。正職員につきましては、引当金等の関係がシステム上分離するのが難しいため、医業費用の給与費の中で計算をさせていただいております。

最後の7ページですが、4条予算の主要事業につきましては、工事請負費として、老朽化している南病棟変電設備取りかえ工事、冷温水配管バイパス工事、松尾地内医師官舎解体工事を行わせていただきます。

器械備品では、電子カルテリース分と、医療機器として上部消化管ビデオスコープと血液ガス分析装置を購入する予定でおります。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（澤居久文君） これで平成28年度の予算関係の説明を終了いたします。

散会の宣告

○議長（澤居久文君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

お諮りいたします。明9日から17日までの9日間は休会といたしたいと思いますが、これに御異議はございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、明9日から17日までの9日間は休会とすることに決しました。来る3月18日は午前9時より本会議を開き、一般質問及び提出議案に対する審議を行います。なお、一般質問の締め切りは14日月曜日の正午までとなっておりますので、質問のある方は期限までに質問趣旨の提出をお願いいたします。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午後2時30分

以上、会議の次第を記載し、その内容の相違ないことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

関ヶ原町議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員